

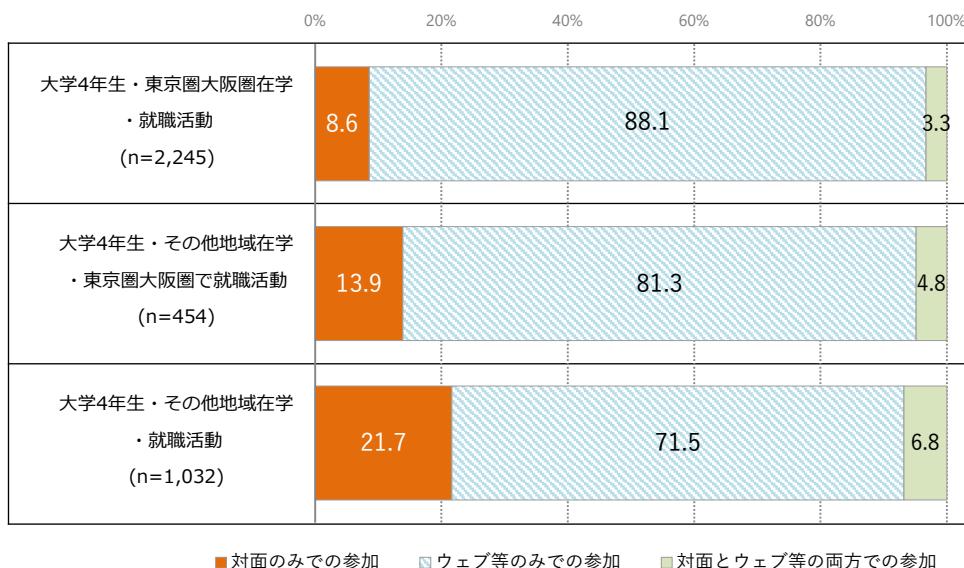
④就職活動地域別の企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

就職活動地域別に、企業説明会やセミナー等について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生では「その他地域在学・就職活動」の者の「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が他の地域と比較して低く、「対面のみ」の回答割合が高くなっている。

大学院2年生では、地域にかかわらず「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が9割を超えており、概ね同様の傾向。

大学4年生

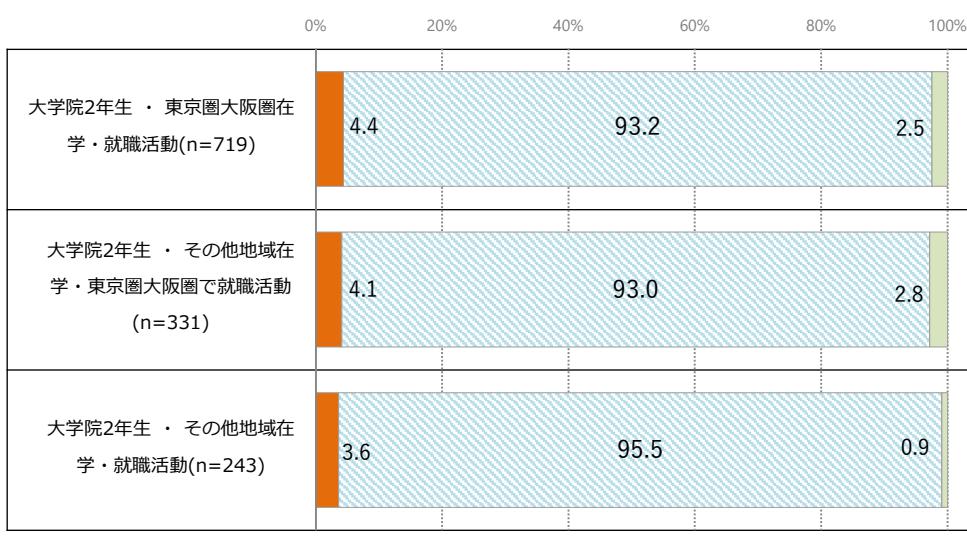
※公務員・教職員志望者除く



■対面のみでの参加 ■ウェブ等のみでの参加 ■対面とウェブ等の両方での参加

大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



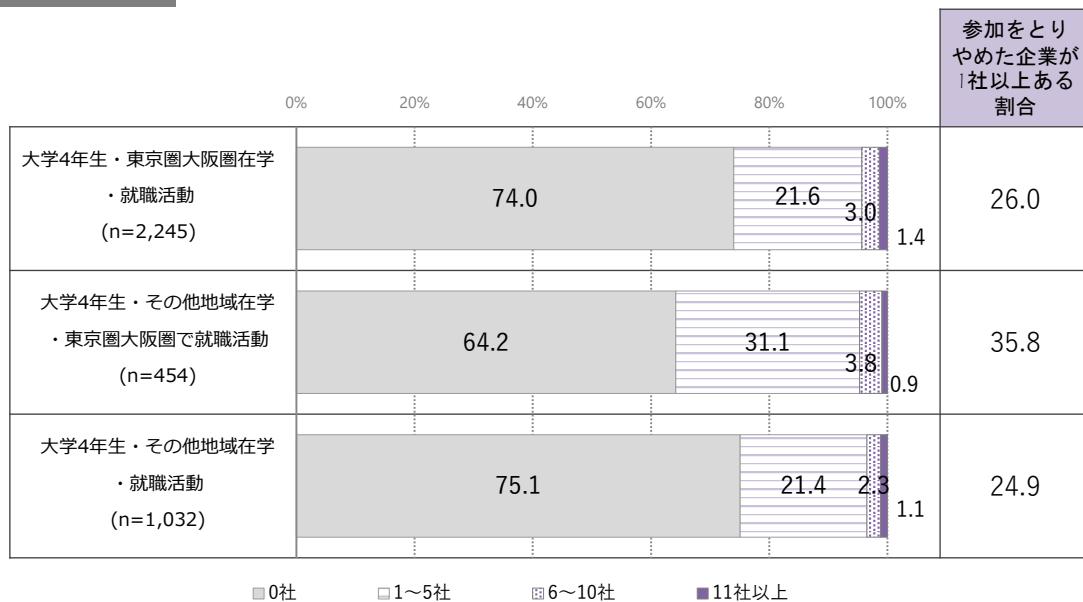
■対面のみでの参加 ■ウェブ等のみでの参加 ■対面とウェブ等の両方での参加

※1: 今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

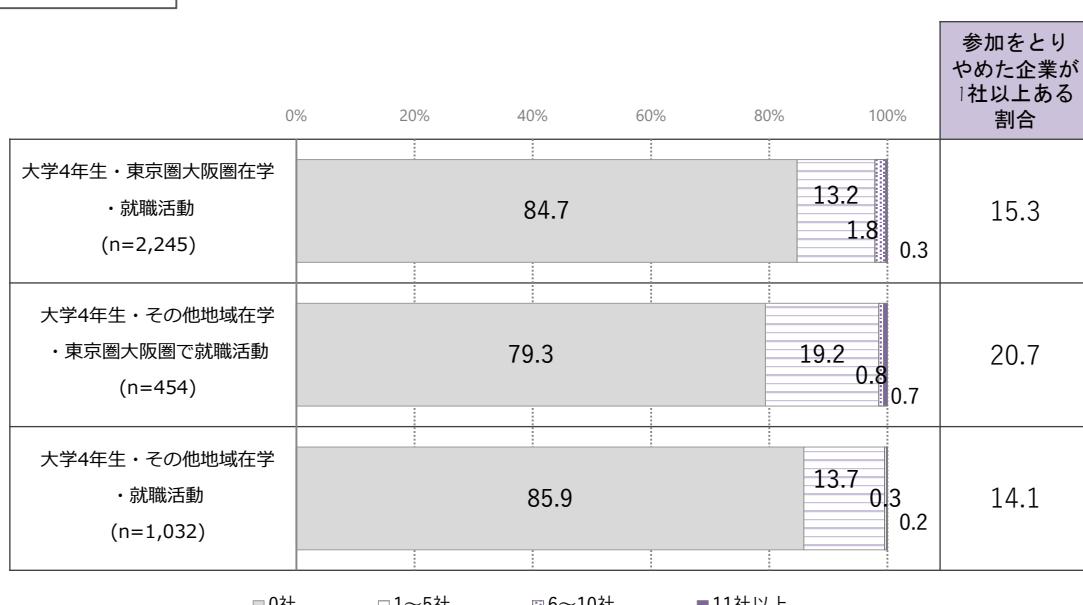
⑤就職活動地域別の対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

就職活動地域別に、参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて集計したところ、1社以上と回答した割合は、大学4年生・大学院2年生ともに、「その他地域在学・東京大阪圏で就職活動」の者で最も高いのは同様の傾向である。ただし、ウェブによる参加割合が異なることも影響してか、活動地域に関わらず、大学4年生の方が大学院2年生と比べ、その割合は高くなっている。

大学4年生



大学院2年生



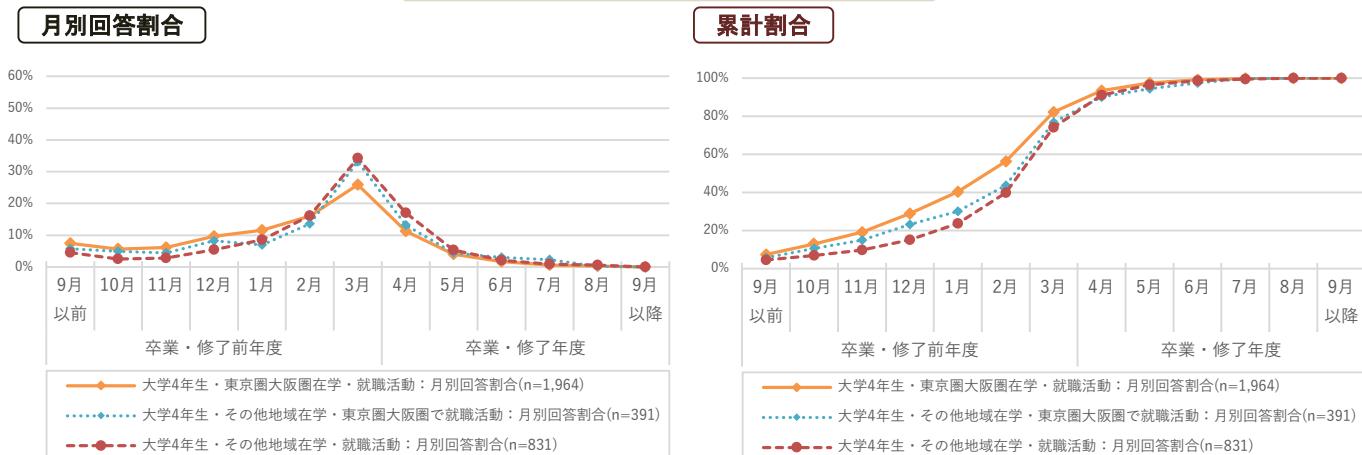
⑥就職活動地域別の採用面接の実施状況

就職活動地域別に、採用面接の実施状況を集計すると※1、大学4年生では、「最初」について「東京圏大阪圏在学・就職活動」の者でより早期の回答割合が高くなっている。「ピーク」については「東京圏大阪圏在学・就職活動」は早期の回答割合が若干高くなっているものの概ね同様の傾向である。大学院2年生については、「最初」「ピーク」「最後」いずれについても「東京圏大阪圏在学・就職活動」の早期の回答割合が高くなっている。

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

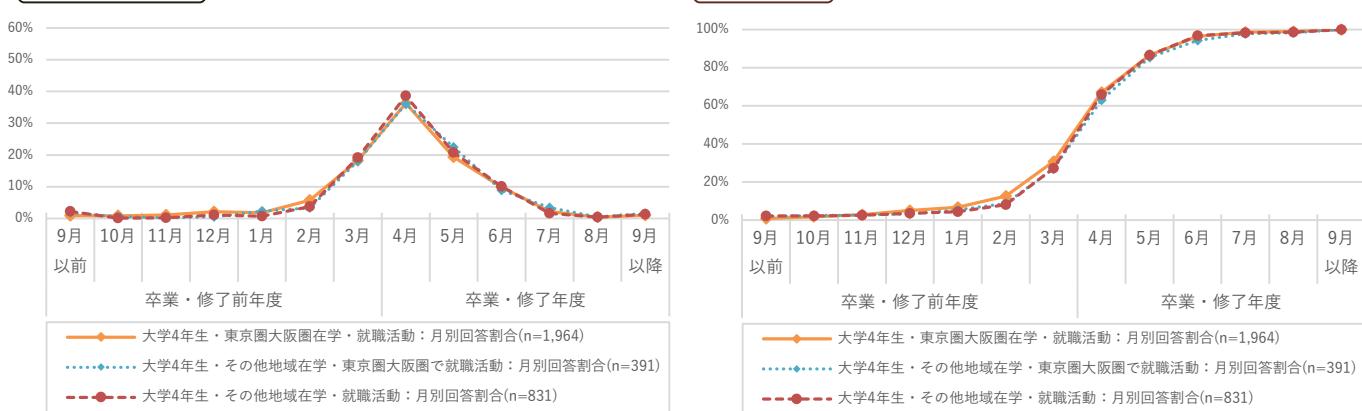
最初に受けた採用面接の時期



採用面接のピーク

月別回答割合

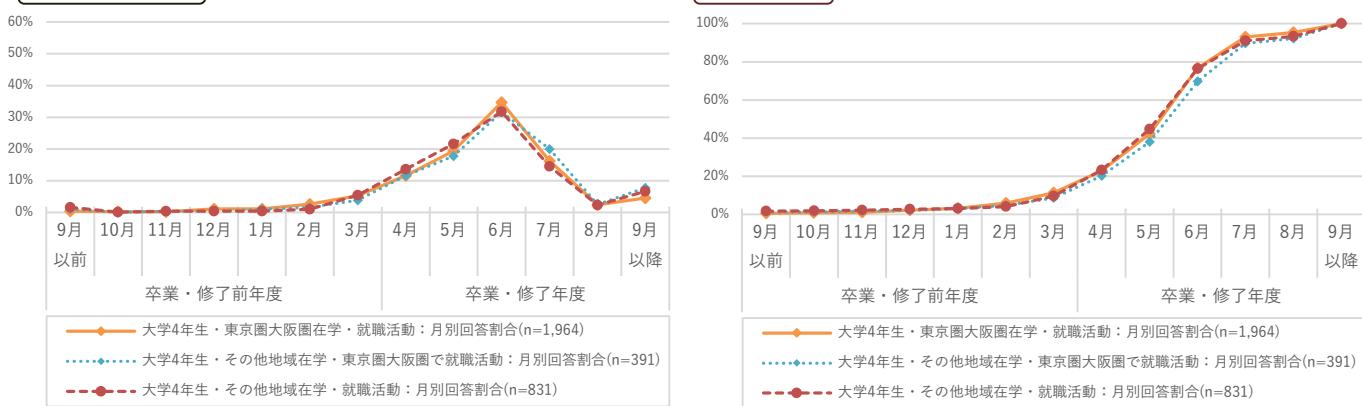
累計割合



最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合

累計割合



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

⑥就職活動地域別の採用面接の実施状況

大学院2年生

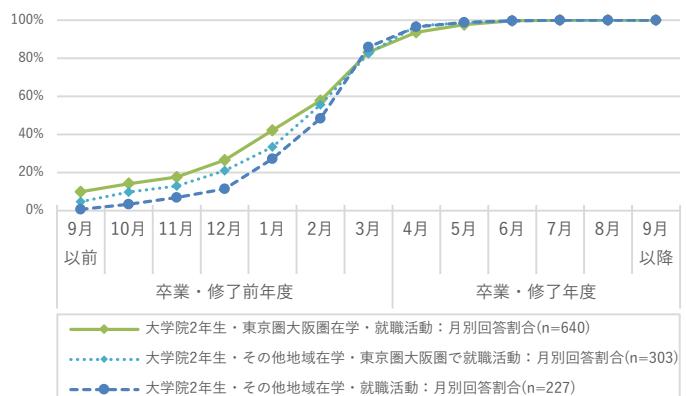
※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



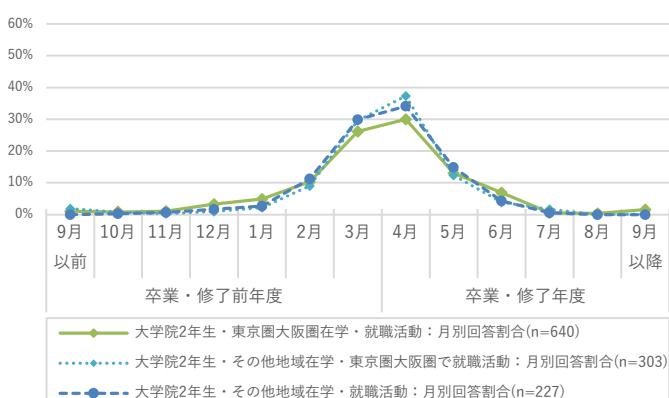
最初に受けた採用面接の時期

累計割合

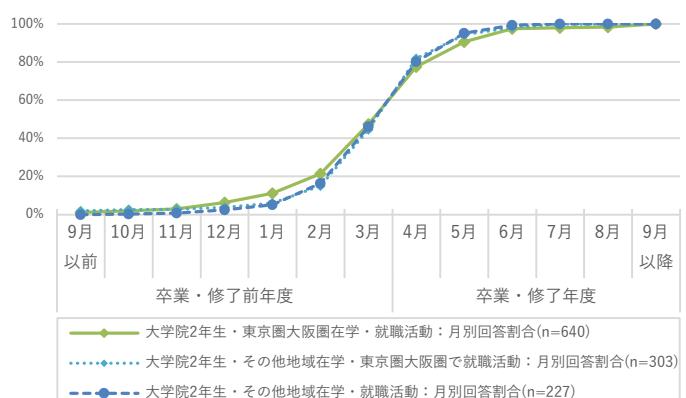


採用面接のピーク

月別回答割合



累計割合

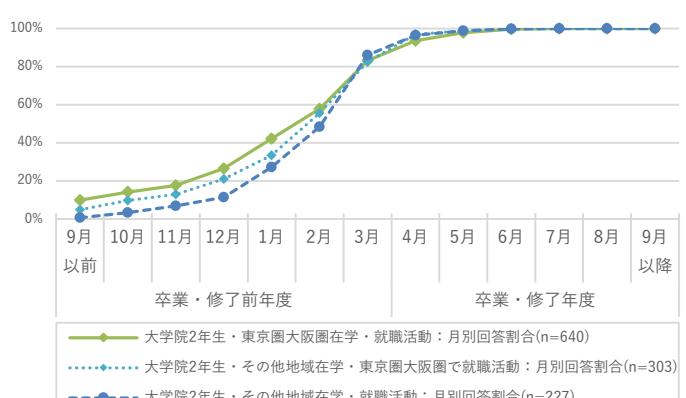


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



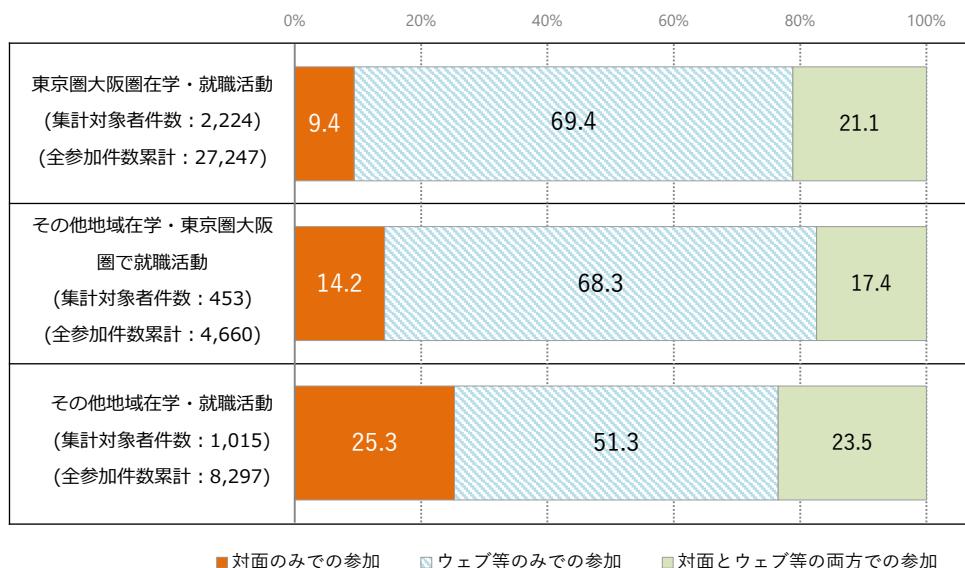
⑦就職活動地域別の採用面接を受けた企業数に対する方法別実施数の割合

就職活動地域別に、採用面接について参加した方法別のすべての企業数を累計※1し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、大学4年生では「その他地域在学・就職活動」の者の「ウェブ等のみでの参加」の回答割合が、他の者と比較して少なくなっている。

大学院2年生では、活動地域にかかわらず「ウェブ等のみ」の割合が9割超となっており、概ね同様の傾向。

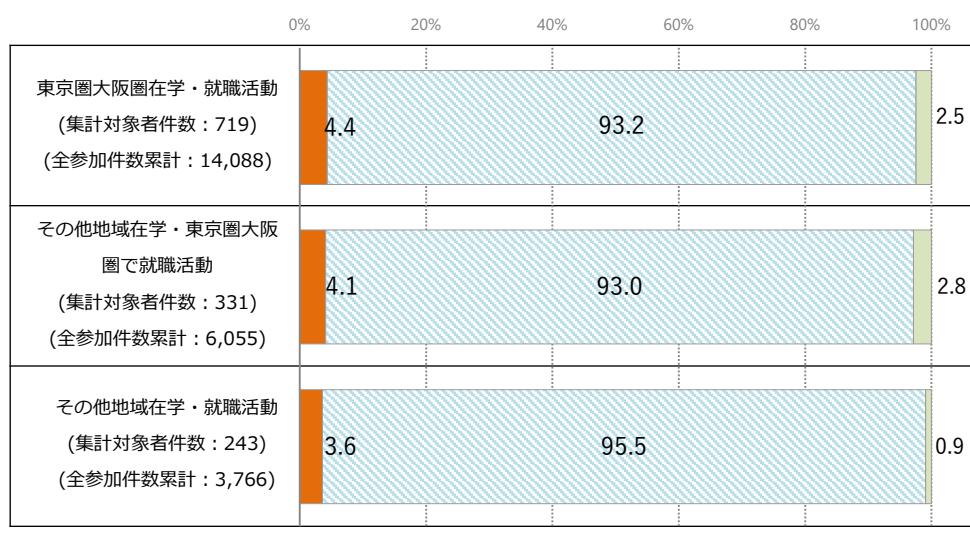
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



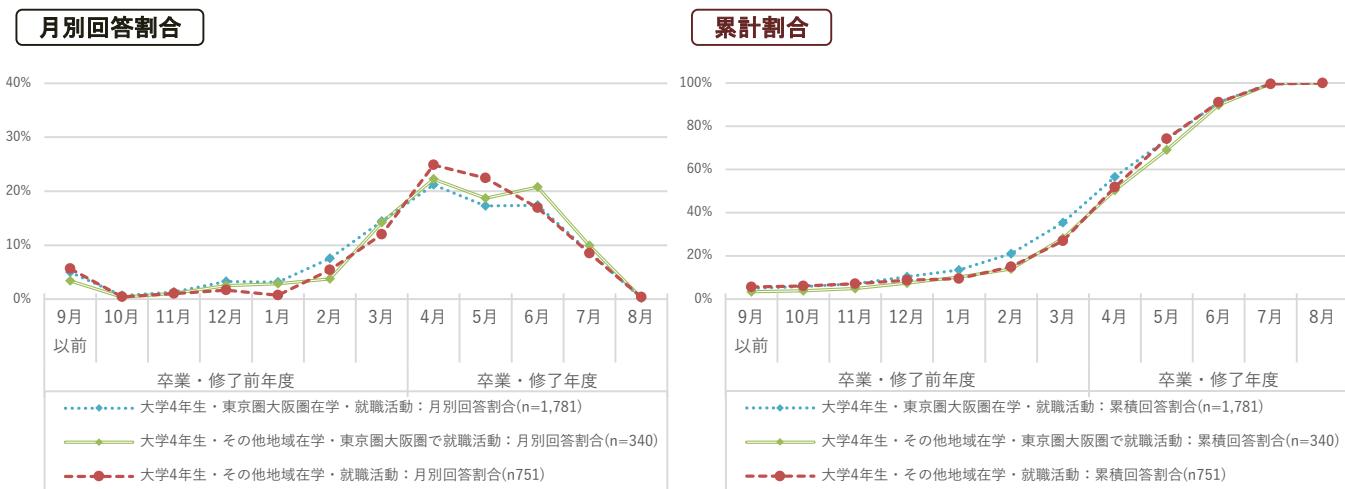
※1: 今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

⑧就職活動地域別の内々定を受けた時期

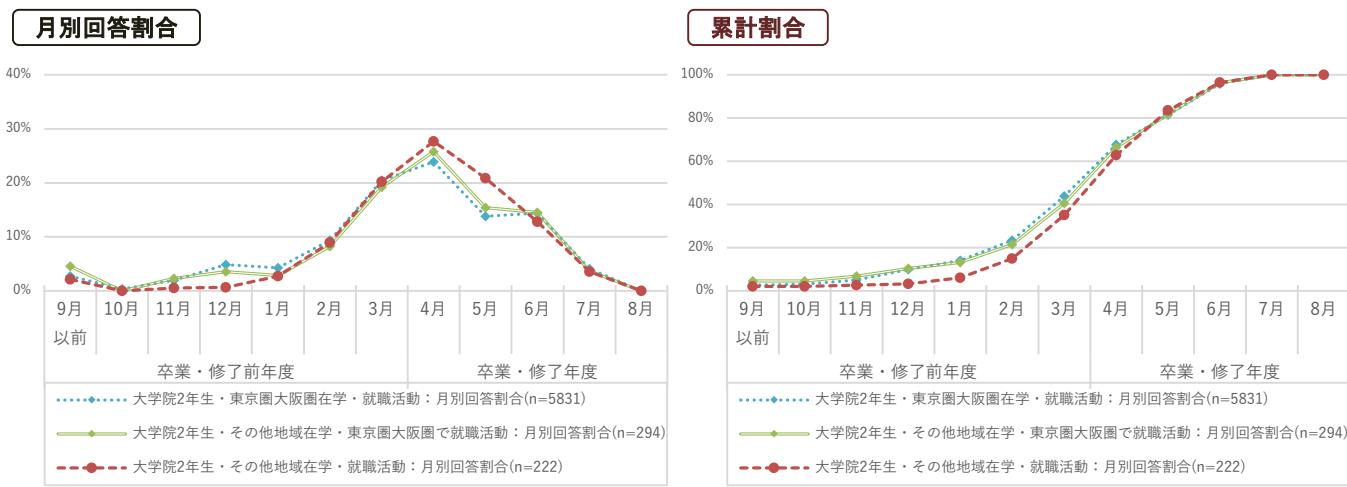
就職活動地域別に、内々定を受けた時期を集計すると※1、大学4年生では、「東京大阪圏在学・就職活動」の者が比較的早い時期の回答割合が高くなっている。

大学院2年生については、在学地域に関わらず、「東京圏大阪圏で就職活動」の者で比較的早い時期の回答割合が高くなっている。

大学4年生



大学院2年生



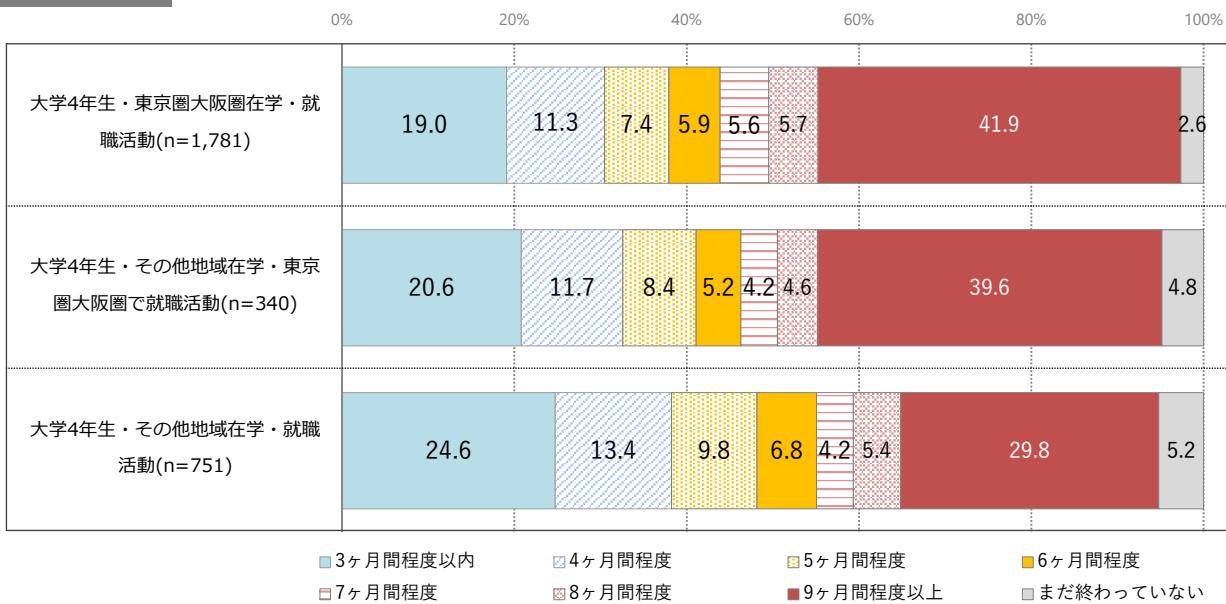
※1: 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑨就職活動地域別の就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職活動地域別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、大学4年生では、「東京圏大阪圏で就職活動」の者において、比較的長い期間の割合が高くなっている。また、大学4年生・大学院2年生ともに、「その他地域在学・就職活動」の者について、「3ヶ月間程度」以下の期間の割合が高くなっている。

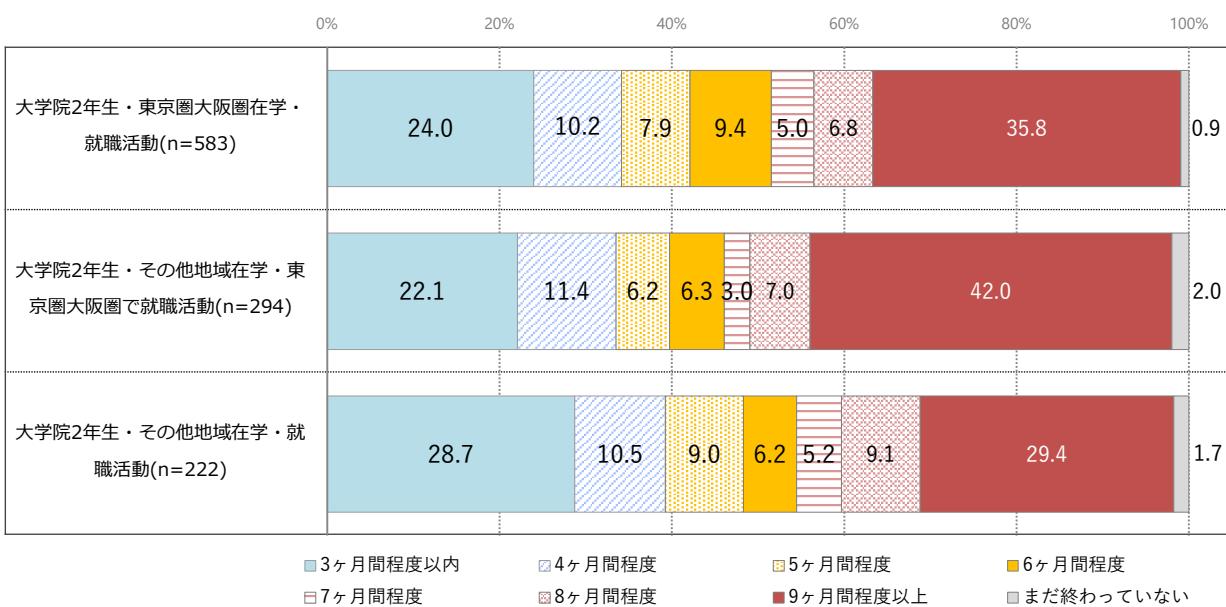
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

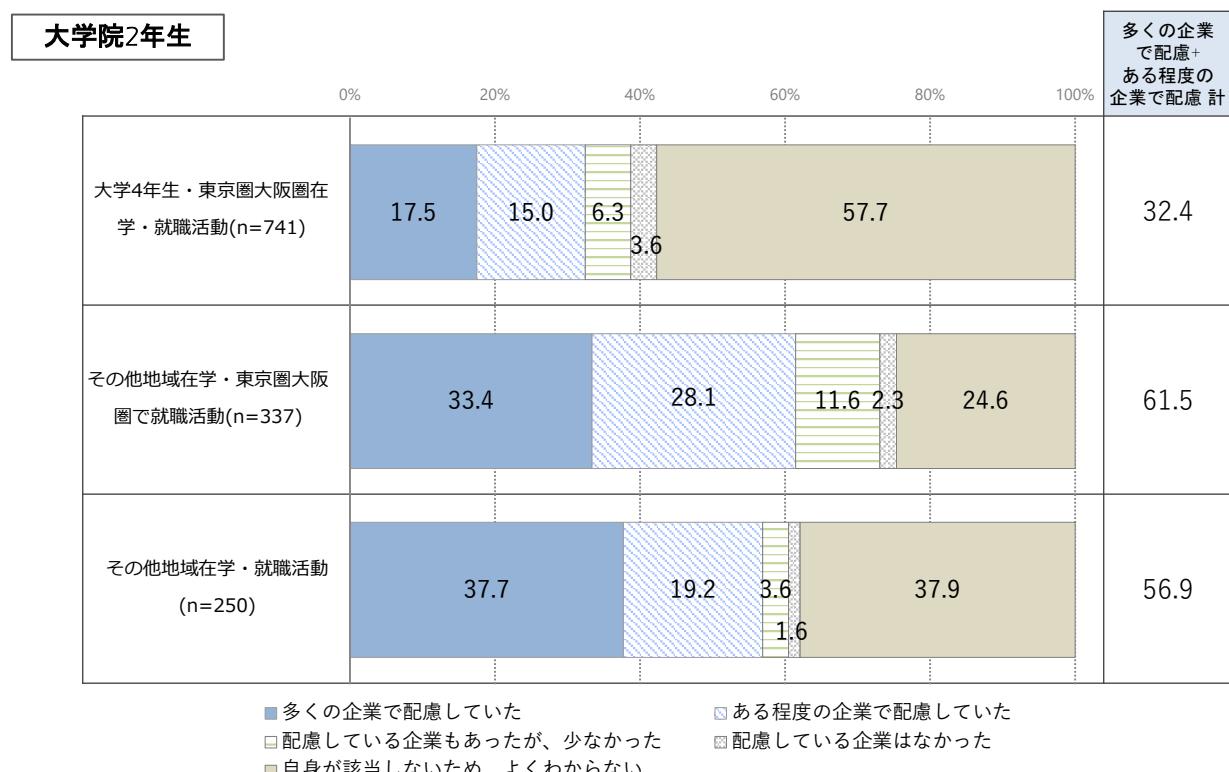
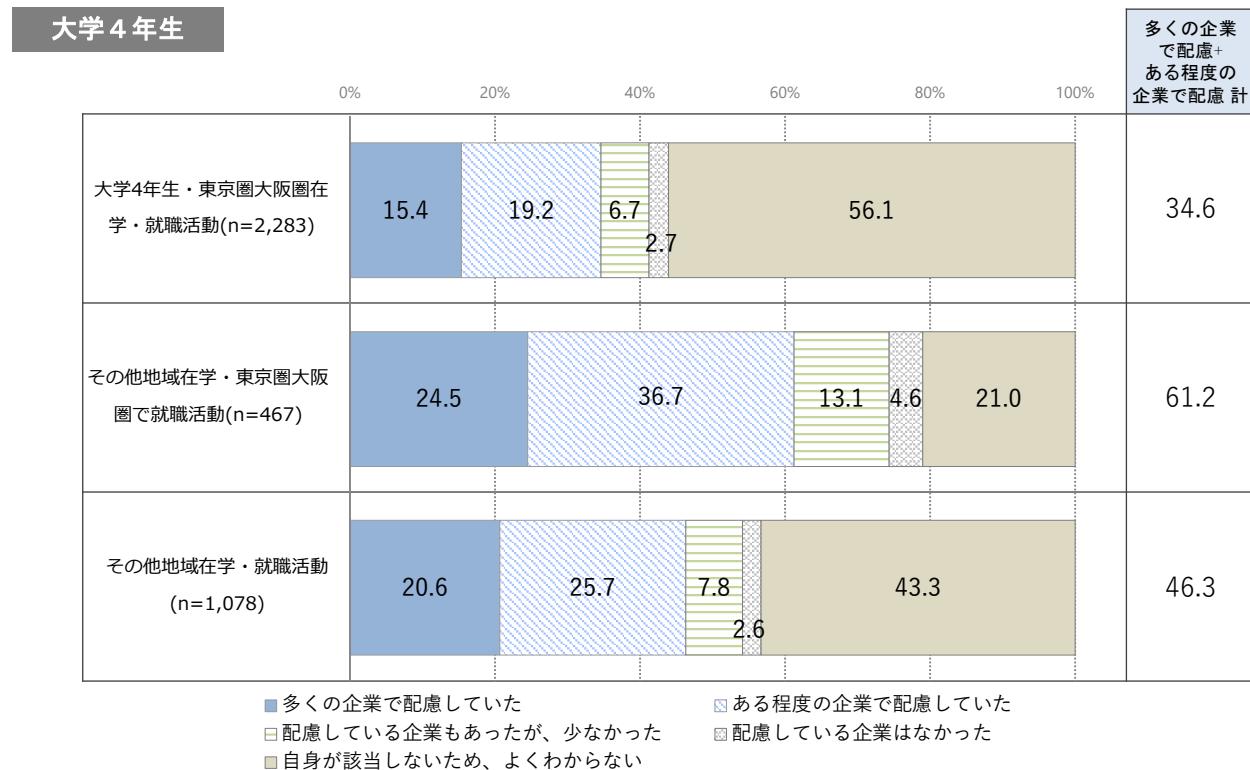
※公務員・教職員志望者除く



※1：ここで集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

⑩就職活動地域別の企業側からの配慮の状況

就職活動地域別に、地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があつたかについて集計すると「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた割合は、大学4年生・大学院2年生ともに「その他地域在学・東京大阪圏就職活動」者が最も高く、約6割となる。



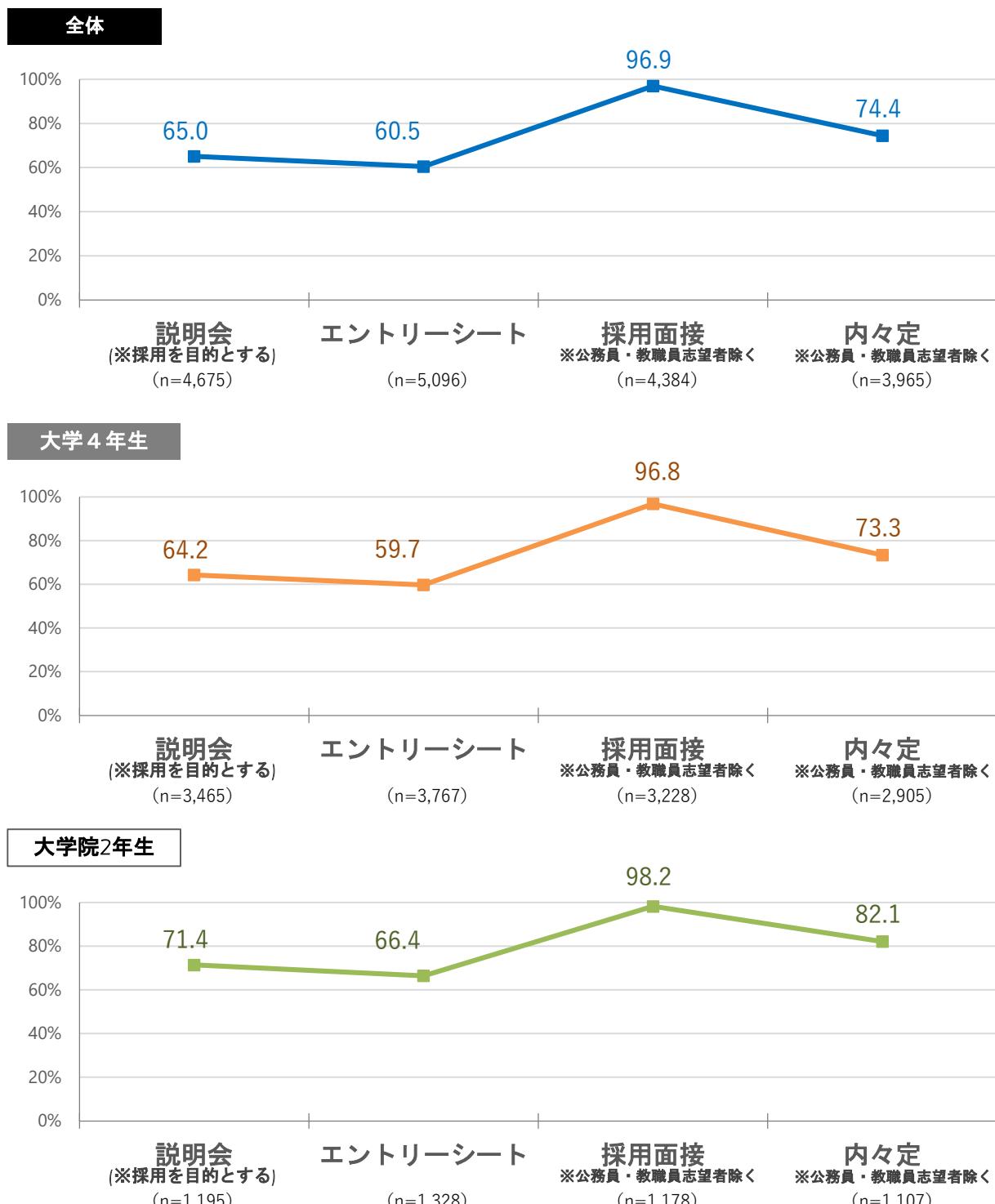
第十章 就職活動早期化・長期化の要因分析

第十章 就職活動早期化・長期化の要因分析

(1) 就職活動の早期化・就職活動期間について

①各活動における「ルール前の参加」について

就職活動においてポイントとなる活動(企業説明会やセミナー(採用を目的とする)参加、エントリーシート提出、採用面接、内々定)について、最初に参加した時期のうち、ルール前の参加※1を集計すると、採用面接が最もルール前参加の割合が高くなっている。



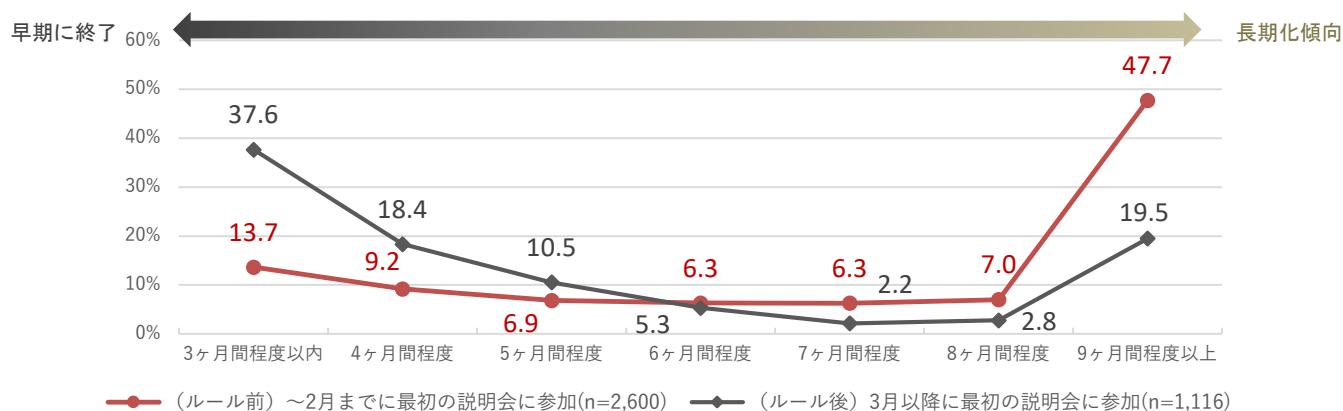
※1：説明会（採用を目的とする）参加とエントリーシート提出は卒業・修了前年度の2月以前、採用面接と内々定は卒業・修了年度の5月以前を「ルール前」として対象としている。

②採用を目的とする企業説明会やセミナーの「ルール前の参加」と就職活動期間の関係

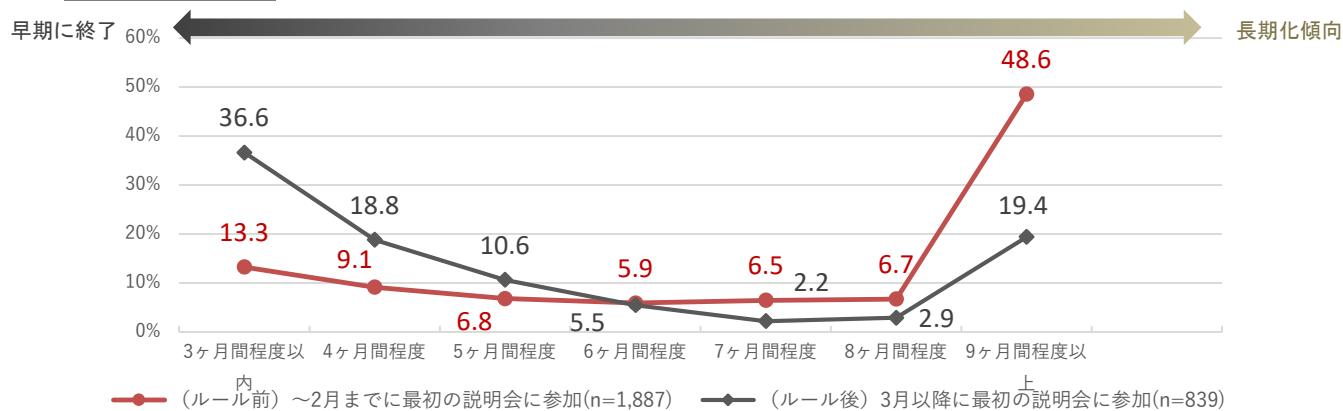
採用を目的とした企業説明会やセミナー※1について、卒業・修了前年度の2月までを「ルール前」、卒業・修了前年度の3月以降を「ルール後」として集計した。

「ルール前」に採用を目的とした説明会に参加した人の方が、「9ヶ月間程度以上」の割合が高く、就職活動が長期化する傾向にある。

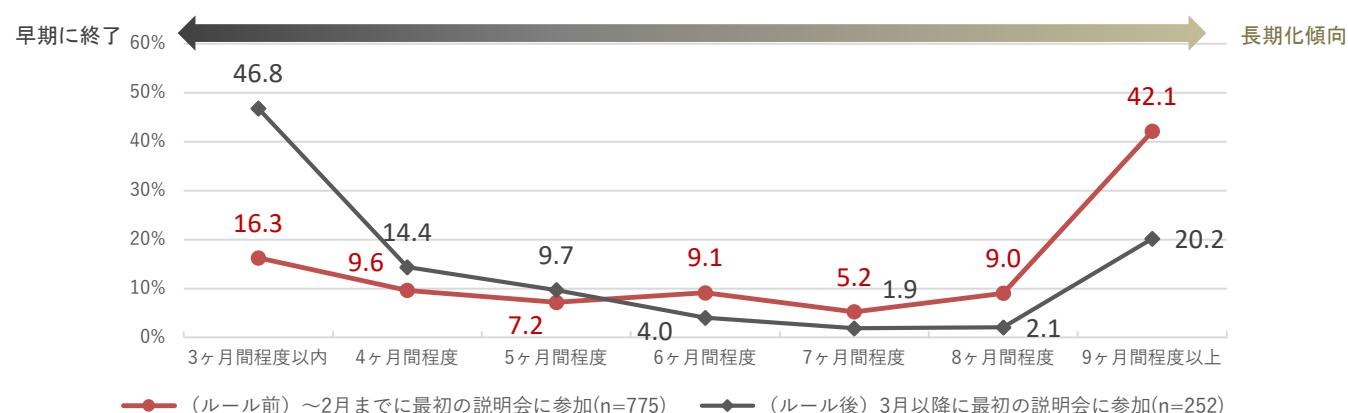
全体



大学4年生



大学院2年生



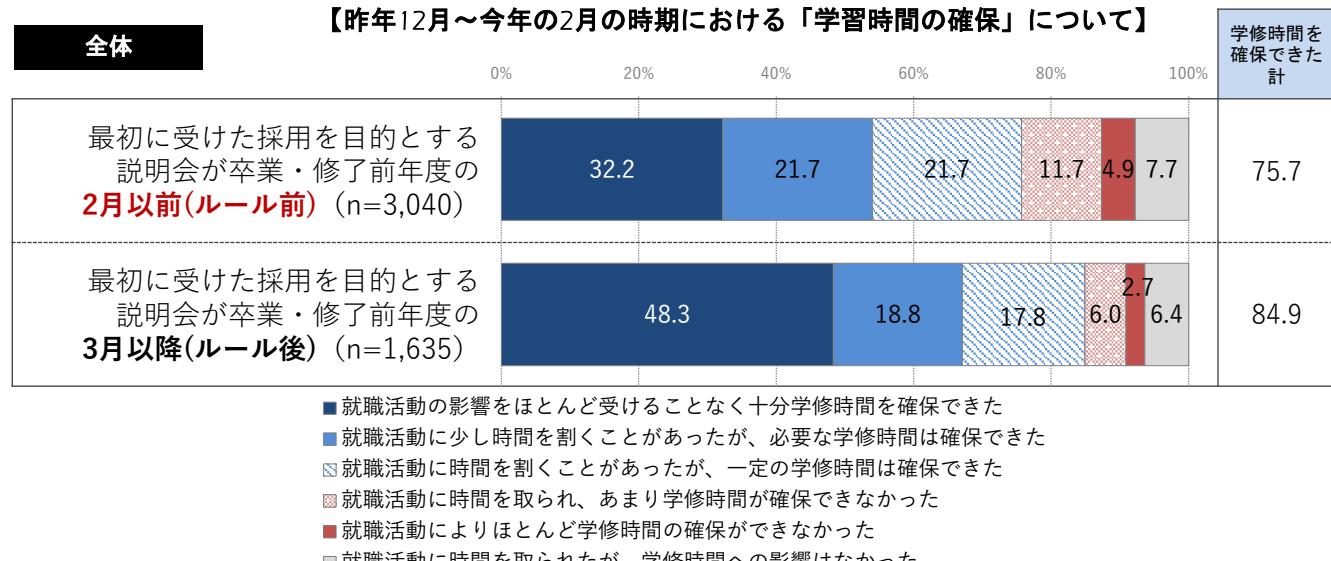
※1：採用を目的とした企業説明会・セミナー等については、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限り、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となる旨を伝えている。採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を行った。

③採用を目的とする説明会の「ルール前の参加」と学修時間の確保の関係

採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期と学修時間の確保(卒業前年度の12月～2月の時期※1)の関係について、卒業・修了前年度の2月までを「ルール前」、卒業・修了前年度の3月以降を「ルール後」として集計した。全体では、「ルール前」に参加した人に比べ、「ルール後」に参加した人では「学修時間を確保できた」の計は10%程度高くなっている。

学年別でも同様の傾向が見られるが、大学4年生と比べ大学院2年生では、「ルール前」に参加した人の「学修時間を確保できた」との回答は約7割と低く、「ルール後」に参加した人との差が比較的大きくなっている。

【昨年12月～今年の2月の時期における「学習時間の確保」について】



大学4年生



大学院2年生



※1：広報活動が開始される卒業・修了前年度の2月までの学修時間の状況を見た。

(2) 就職活動における内々定早期化について

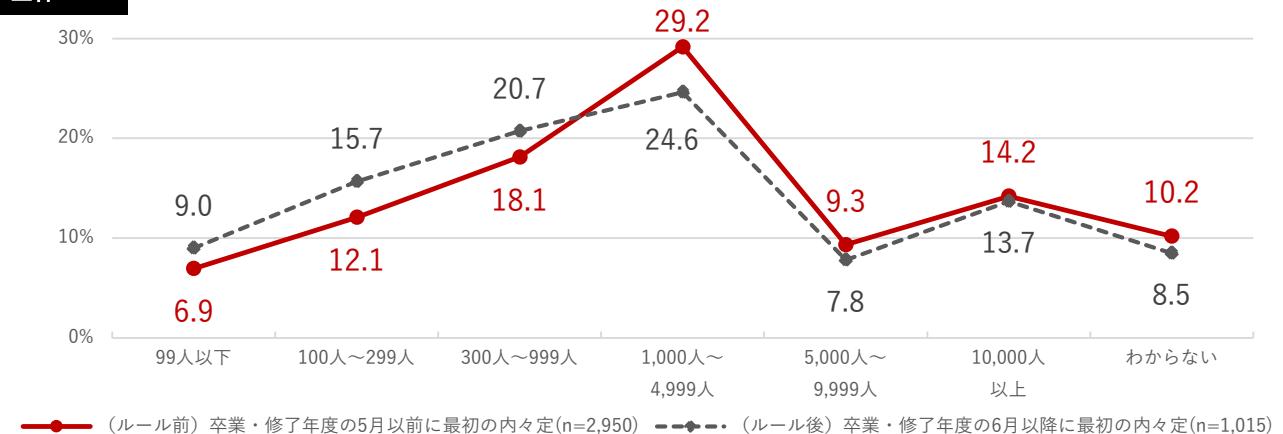
①最初に内々定をもらった時期と企業規模の関係

最初の内々定について、卒業・修了年度の6月以降(ルール後)と、卒業・修了年度の5月以前(ルール前)で分類し、その企業規模について集計を行った。

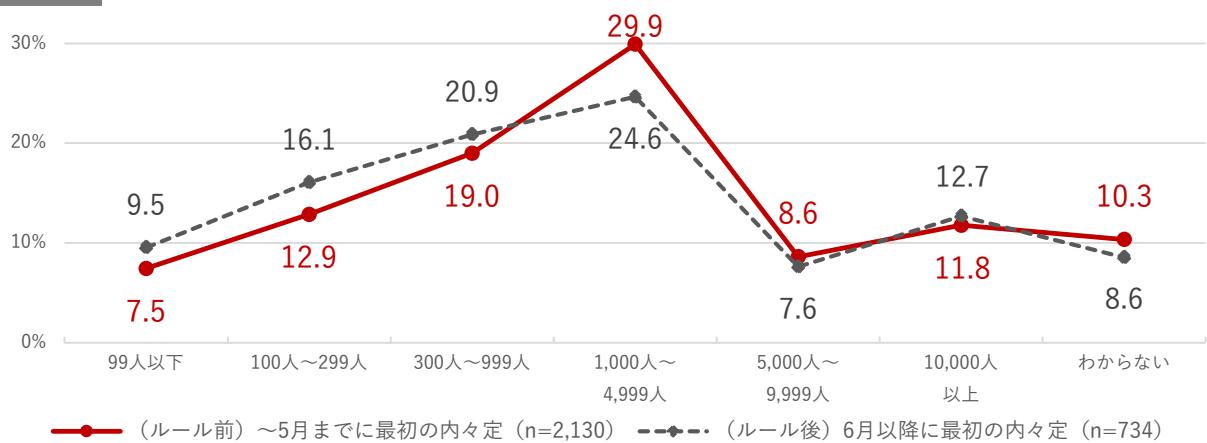
卒業・修了年度の5月以前(ルール前)では、「1,000～4,999人」で約3割と最も高く、卒業・修了年度の6月以降(ルール後)の内々定の回答割合を上回る。

学年別では、大学院2年生では、「5,000～9,999人」以上でルール前の内々定の割合が高くなり、大学4年生と比べ企業規模が大きい企業ではルール前の内々定の回答割合がより高まる傾向にある。

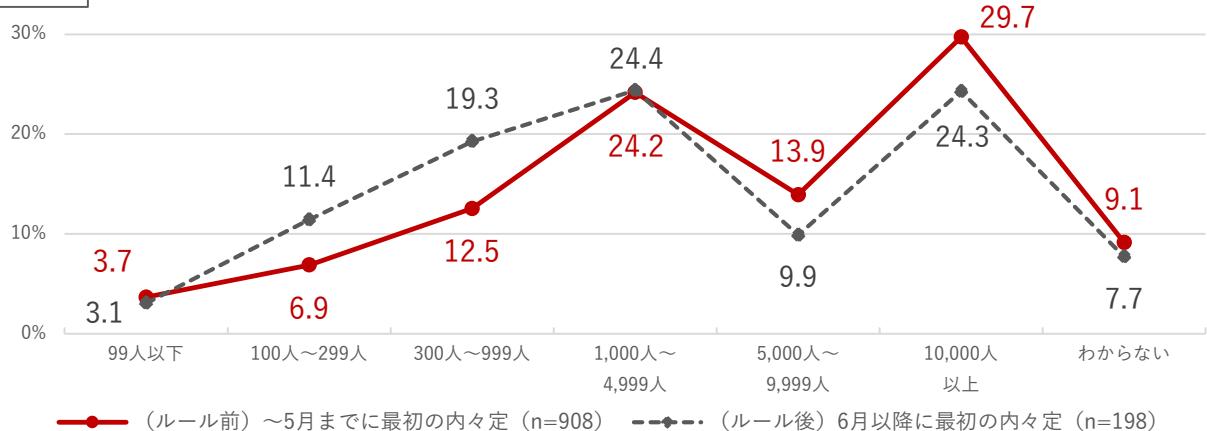
全体



大学4年生



大学院2年生



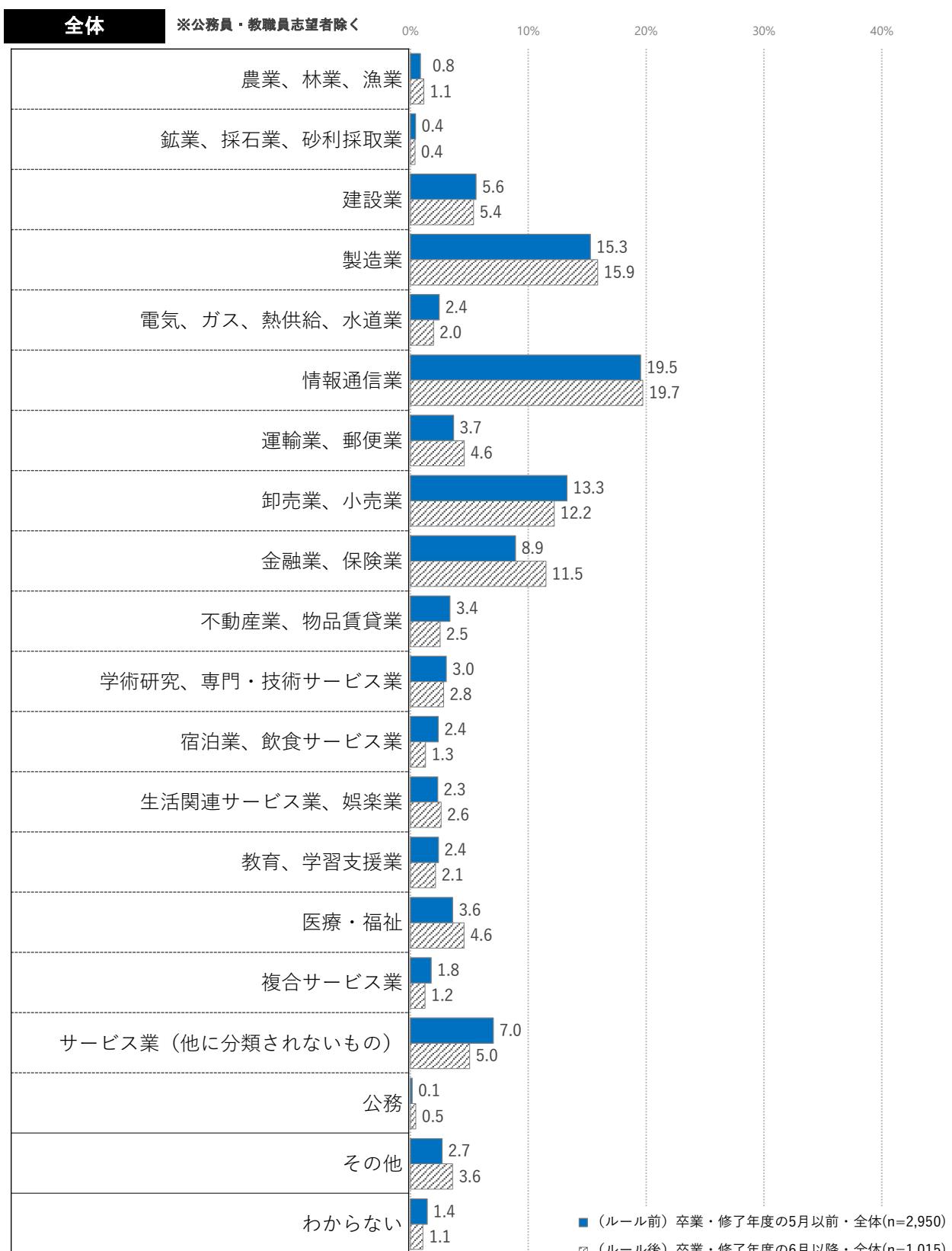
※内々定は卒業・修了年度の5月以前を「ルール前」の対象としている。

②最初に内々定をもらった企業の業界

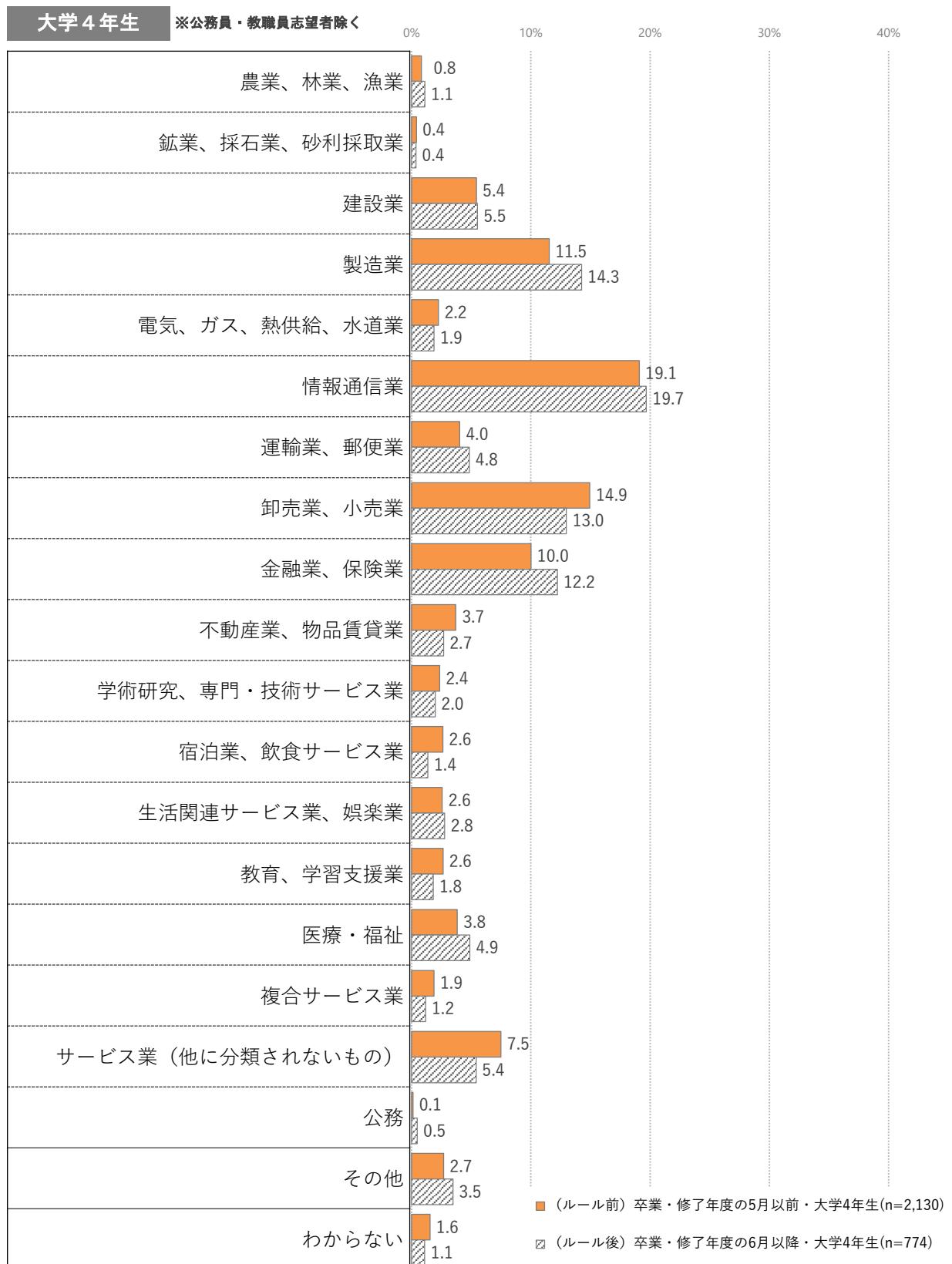
最初の内々定について、卒業・修了年度の6月以降(ルール後)と、卒業・修了年度の5月以前(ルール前)で分類し、それぞれについて集計を行った。

卒業・修了年度の5月以前(ルール前)と6月以降(ルール後)で、内々定をもらった業種に大きな違いは見られないが、「金融業、保険業」ではややルール後の内々定の割合が高くなっている。

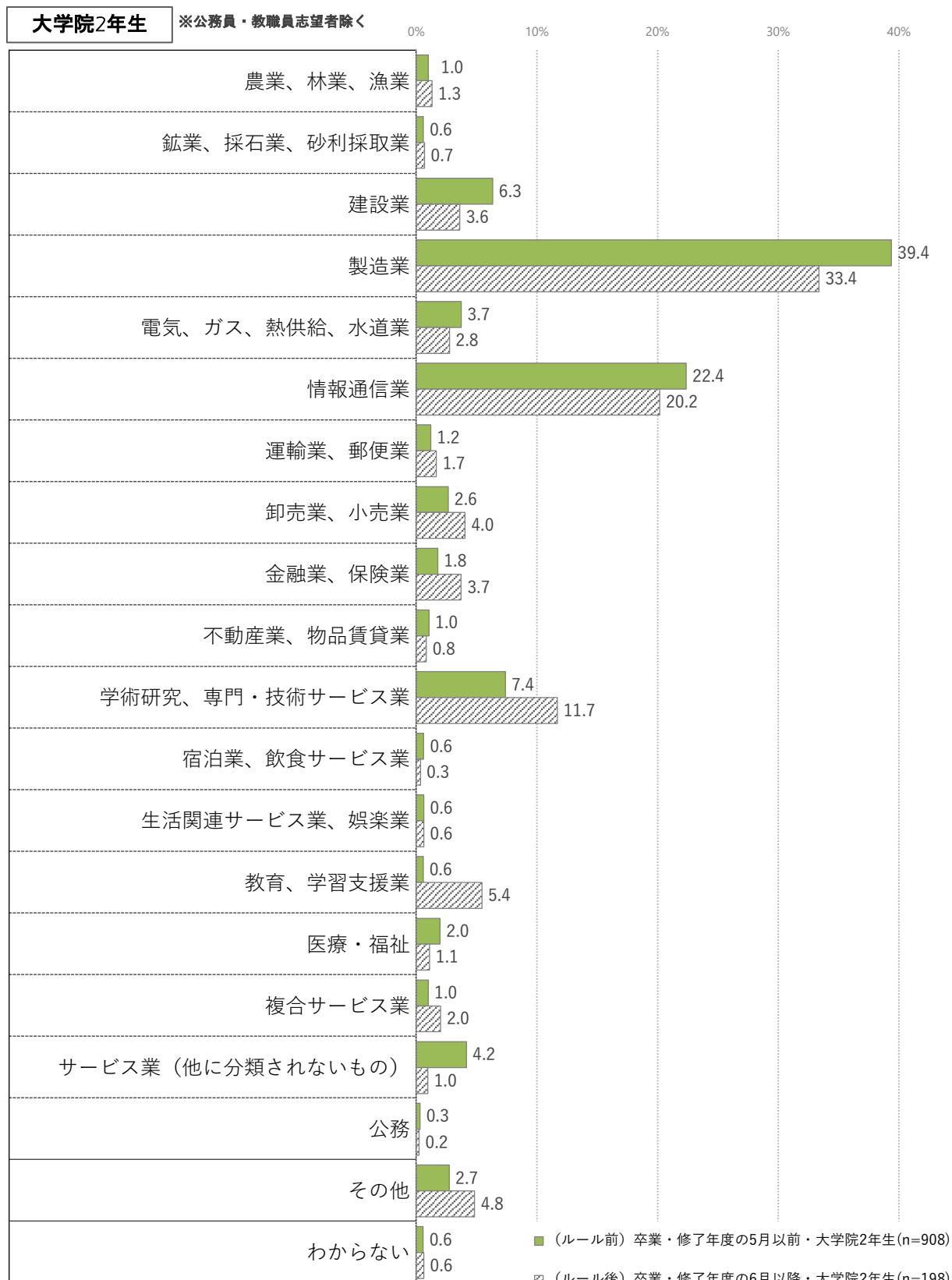
学年別では、大学4年生では全体値と大きな差は見られないものの、大学院2年生では「製造業」でルール前の内々定が、「学術研究、専門・技術サービス業」でルール後の内々定の回答割合が高くなっている。



②最初に内々定をもらった企業の業界

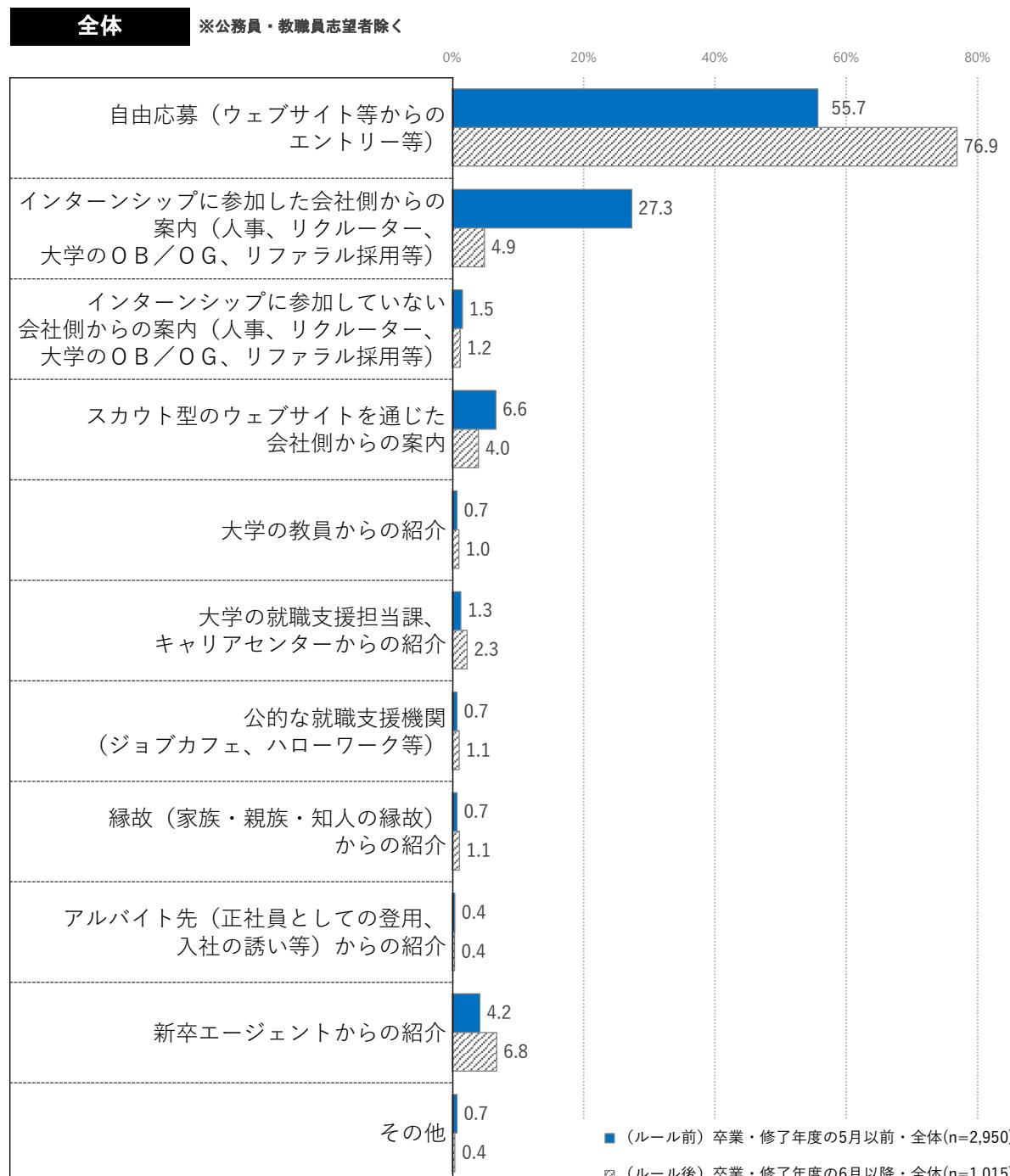


②最初に内々定をもらった企業の業界

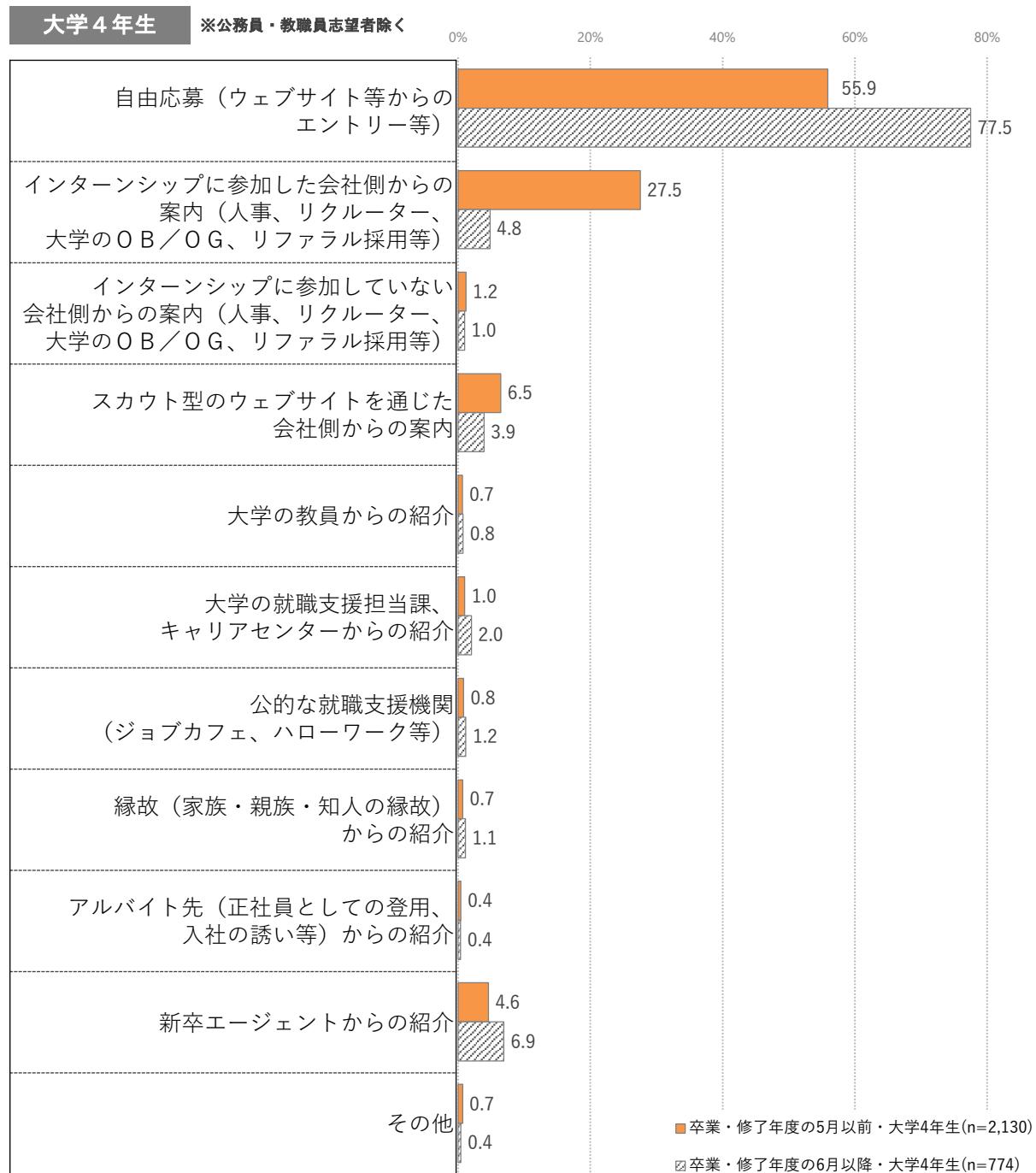


③最初に内々定をもらった企業の経路

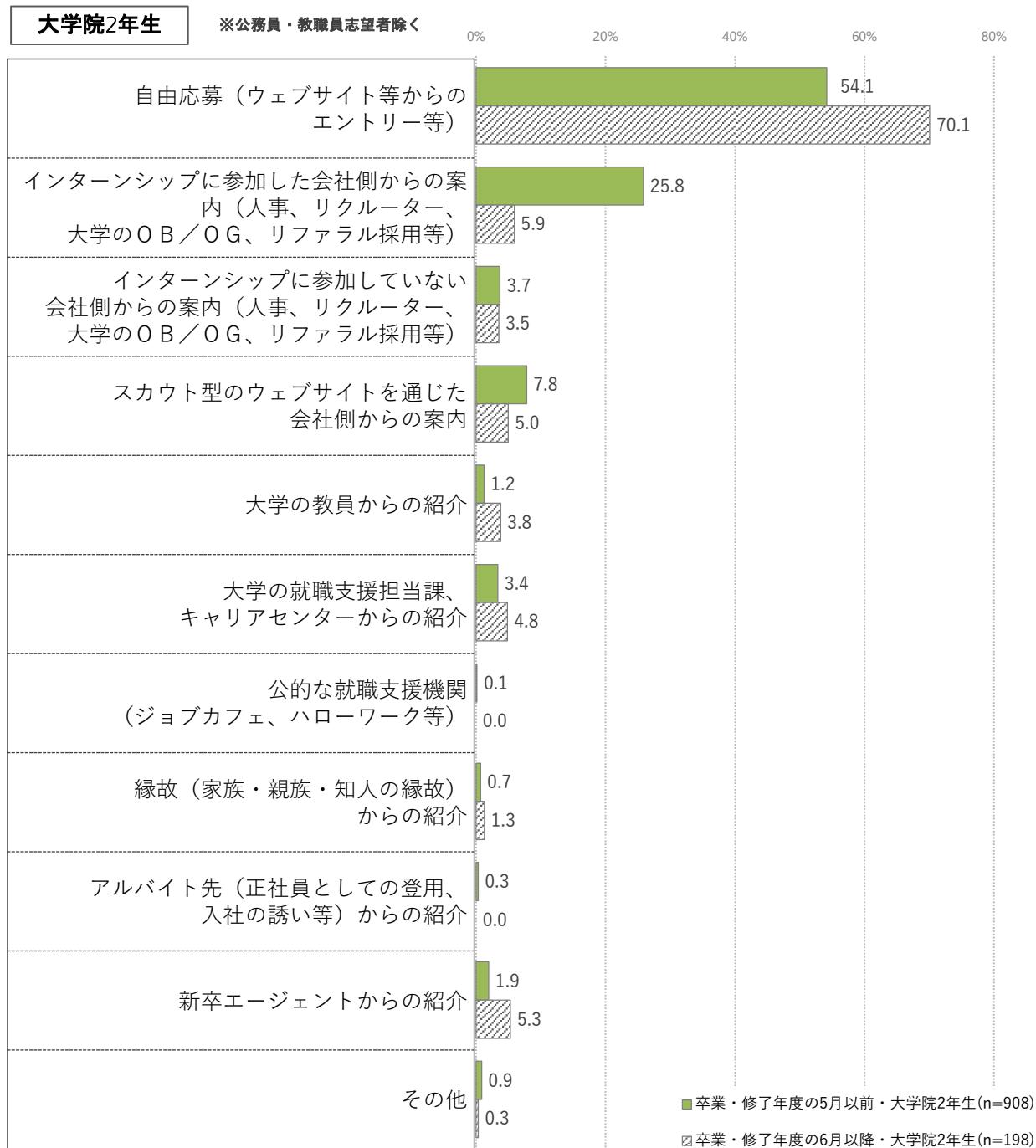
どのような経路で採用試験・面接等を受けたかについて、ルール前後ともに「自由応募(ウェブサイト等からのエントリー等)」との回答が最も高い割合であった。一方、ルール前の方が著しく高い経路は、「インターンシップに参加した会社側からの案内(人事・リクルーター・大学のOB/OG、リファラル採用等)」との回答で約3割であった。大学4年生、大学院2年生ともに同様の傾向となっている。



③最初に内々定をもらった企業の経路



③最初に内々定をもらった企業の経路

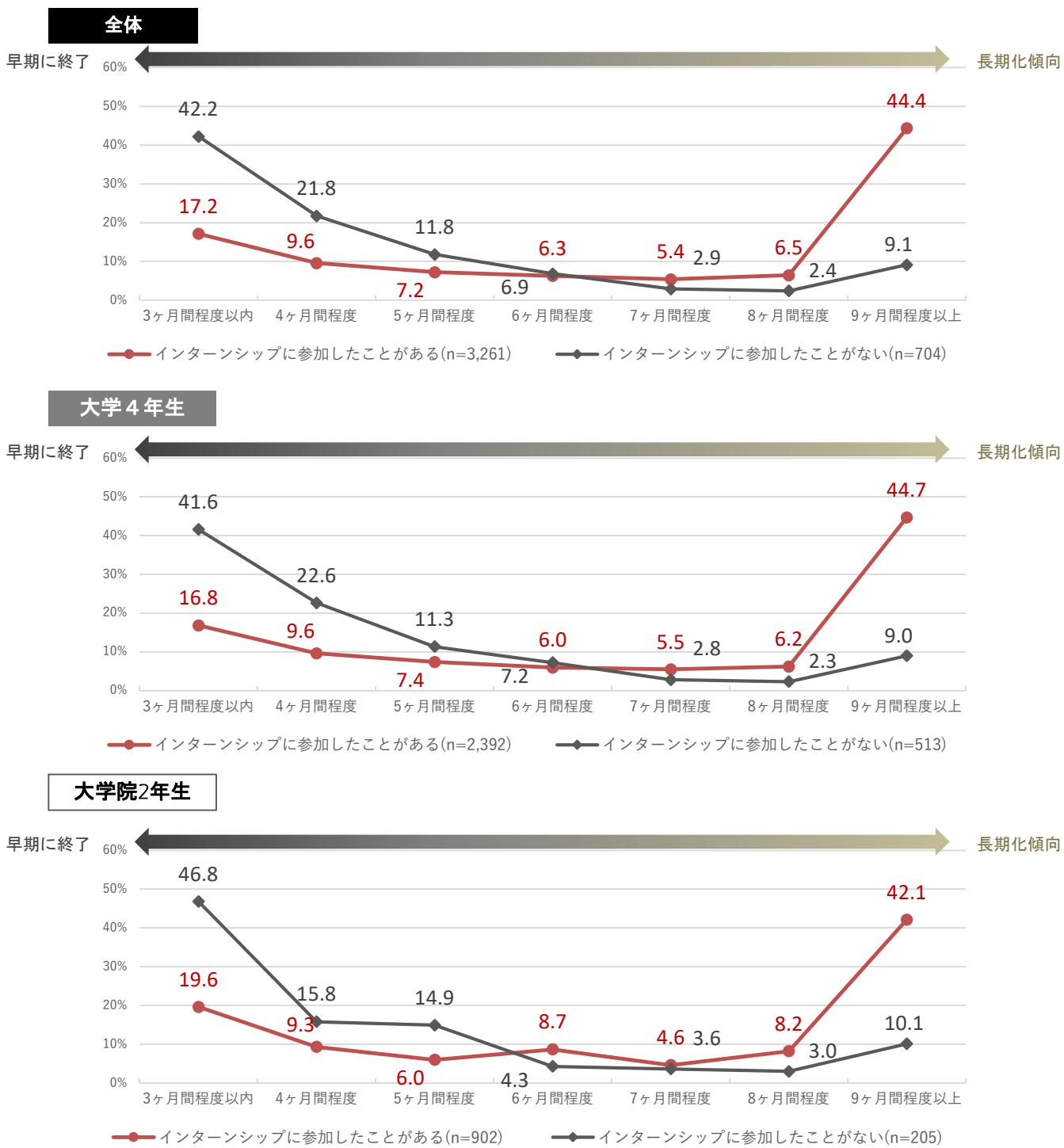


(3) 就職活動における早期化・長期化とインターンシップについて

①インターンシップ参加者と就職活動期間の関係

インターンシップに参加したことがある人(複数・1回)と、参加したことがない人とを分類し、就職活動期間※1について集計した。

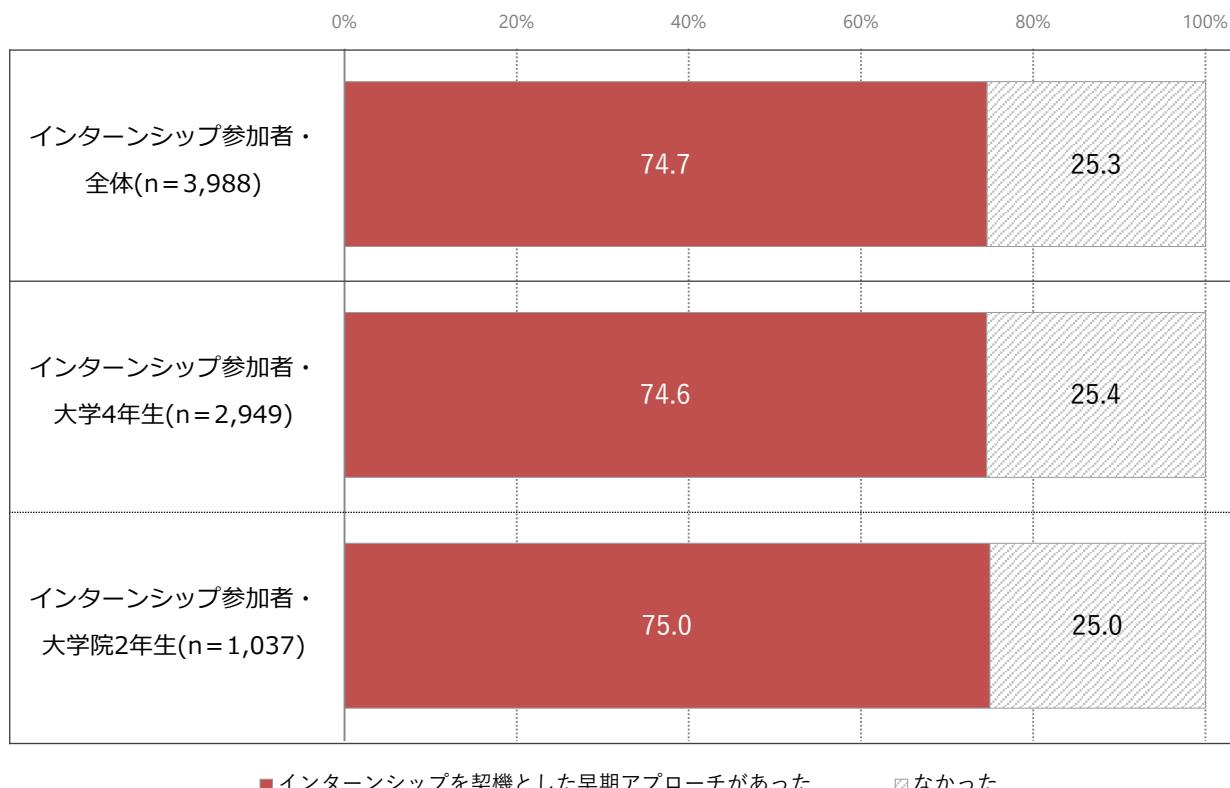
インターンシップへの参加を就職活動のスタートと捉えるか否かは、回答者の主観によるところがある点に注意が必要であるものの、インターンシップに参加したことがある人の方が、就職活動期間が「9ヶ月間程度以上」の割合が高く、長期化の傾向が見られる。大学4年生、大学院2年生でも同様の傾向である。



※1：就職活動が「まだ終わっていない」と回答した人の割合は掲載を割愛。

②インターンシップ参加者におけるインターンシップ参加者対象の早期アプローチ経験有無

インターンシップに参加したことがある(複数・1回)人のうち、インターンシップを契機とした早期アプローチ※1の有無を集計したところ、インターンシップを契機とした早期アプローチがあったとした人は、全体で約8割を占める。また学年別でも同様の傾向が見られる。

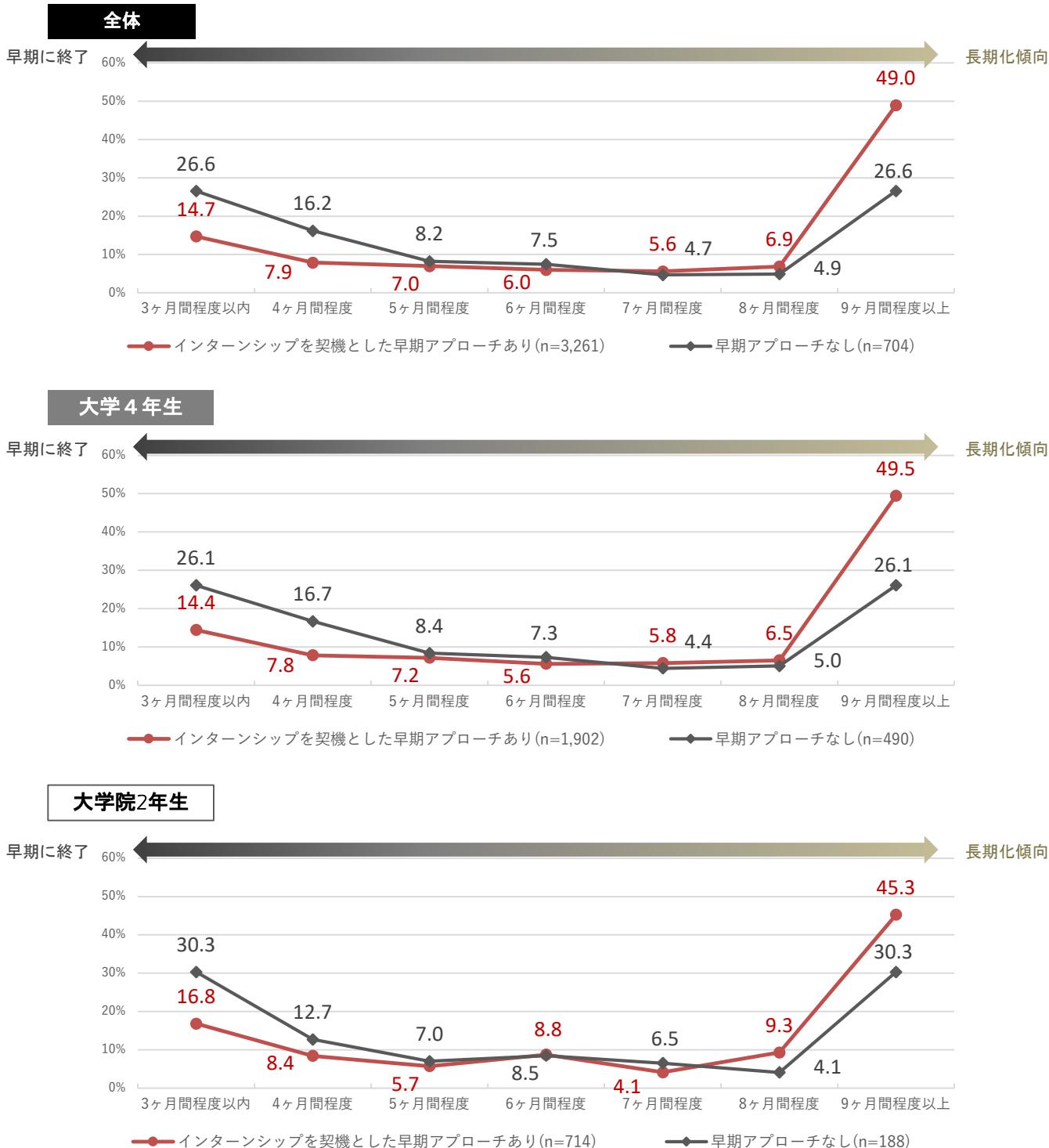


※1: 「インターンシップ参加者を対象とした採用説明会、セミナーに参加した（2021年2月以前に開催されたもの）」「インターンシップ参加者を対象とした採用試験、面接等を受けた（2021年5月以前に実施されたもの）」「インターンシップ参加者を対象とした早期選考の案内」「内々定（インターンシップからの採用直結であり、2021年5月以前に受けたもの）」の、いずれかを選択した人を集計している。

③インターンシップ参加者対象の早期アプローチ経験者と就職活動期間の関係

インターンシップに参加したことがある(複数・1回)人を、インターンシップを契機とした早期アプローチの有無で分類し、就職活動期間について集計した※1。

インターンシップを契機とした早期アプローチがあった人の方が、就職活動期間が「9ヶ月間程度以上」と回答する割合が高く、約5割。一方で早期アプローチがなかった人のうち「9ヶ月間程度以上」と回答した人は約3割。



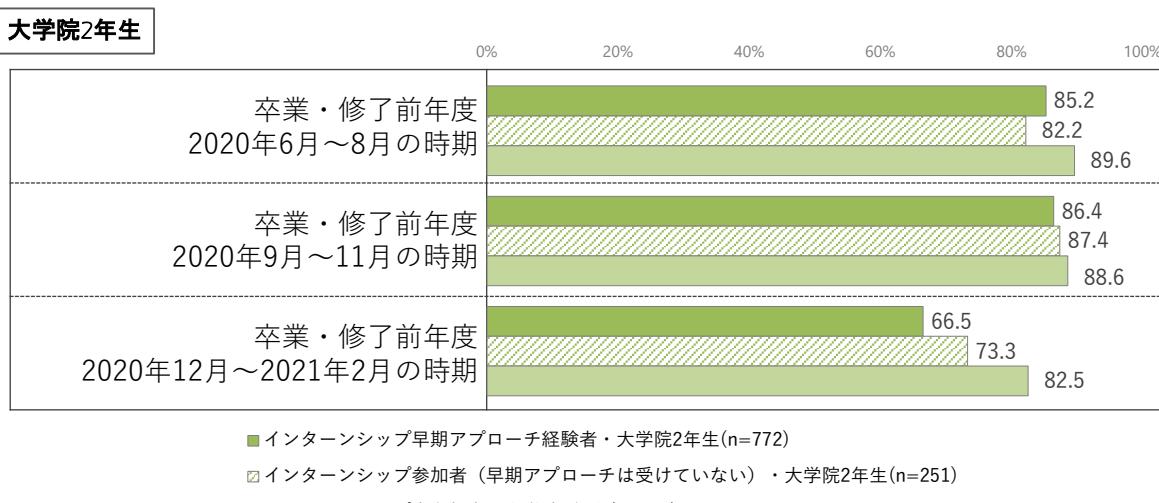
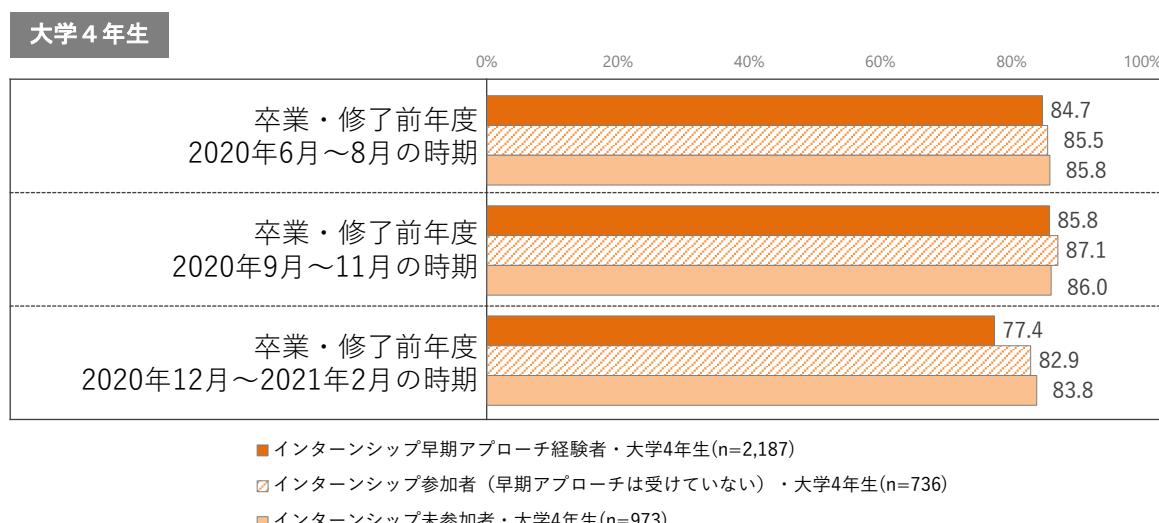
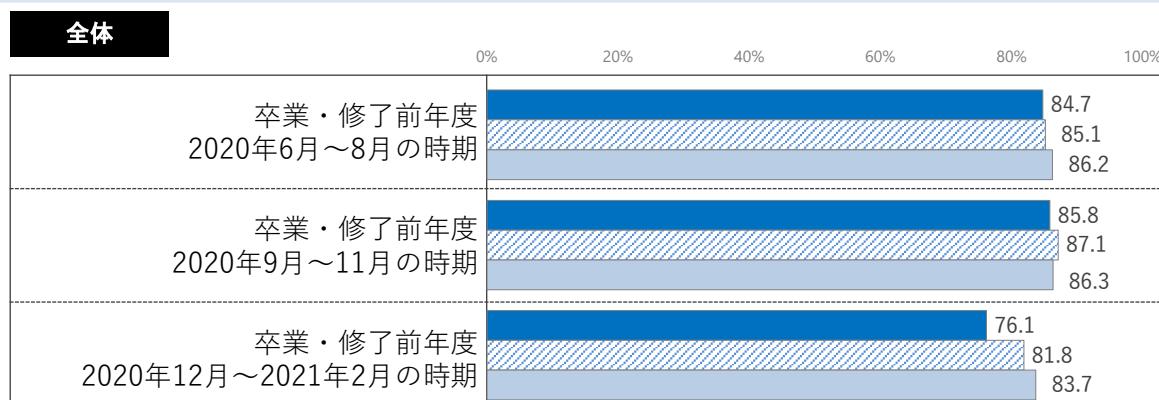
※1：就職活動が「まだ終わっていない」と回答した人の割合は、グラフ中では掲載を割愛。

④インターンシップ参加者対象の早期アプローチ経験者と学修時間の確保の関係

全体では、卒業・修了前年度の6月～8月、9月～11月についてはそれほど大きな差は見られないが、12月～2月については、「インターンシップ未参加者」が最も「学修時間を確保できた」とする割合が高く、一方で「インターンシップ早期アプローチ経験者」で、最も回答割合が低くなっている。

また、大学4年生、大学院2年生も同様の傾向も、大学院2年生では、卒業・終了前年度の6月～8月、12月～2月において、「インターンシップ未参加者」が最も学修時間が確保できたとする回答割合が高く、「インターンシップ参加者」との差が大きくなっている。

※グラフの値は「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合。



參考資料

【調査票】

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査

来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に向けた検討の参考とするため、大学4年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2年生の方を対象として、就職・採用選考活動の実態を把握するためのアンケート調査を実施しております。

この調査は、株式会社マーケティング・コミュニケーションズが実施します。個別の記載内容については秘密を保持するとともに、個人が特定できるような情報は、一切公開されません。

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。

回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。

JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

Microsoft Internet Explorer 11

Firefox 14.0以降

Google Chrome 21.0以降

推奨OS

Windows10

Windows8

【1】あなた自身についてお聞きします。

[必須]

Q1. あなたの年齢をご記入ください。

※半角整数で記入

歳

[必須]

Q2. あなたの性別を教えてください。（ひとつ）

男性

女性

その他

答えたたくない

[必須]

Q3. 現在のあなたの学年をお選びください。（ひとつ）

※留学、留年、休学、編入等をされた方で、来年（2021年）3月に卒業・修了をする年次の方については、
在学年数等に関わらず、「大学4年生」あるいは「大学院2年生」を選択してください。

※「大学院2年生」とは、修士課程（博士前期課程）2年生を指すこととします。（以下、同様）

大学4年生

大学院2年生

その他

[必須]

Q4. あなたが通っている大学／大学院はどれにあてはまりますか。 (ひとつ)

国立

公立

私立

[必須]

Q5. あなたが通っている大学／大学院名をお答えください。

例：○○大学（直接記入）

[必須]

Q6. あなたが通っている大学／大学院の所在地はどちらですか。 (ひとつ)

選択して下さい▼

[必須]

Q7. あなたの出身地はどちらですか。 (ひとつ)

※生まれた場所に限らず、実家がある場所など、大学に入学するまでの間、最もつながりがあると考える地域についてお答えください。

選択して下さい▼

[必須]

Q8. あなたの専攻はどれにあてはまりますか。 (ひとつ)

人文科学（文学、言語学、史学、地理学、哲学、コミュニケーション学、心理学等）

社会科学（法学・政治学・商学・経済学・経営学・社会学等）

理学（数学、物理学、化学、生物学、地学等）

工学（機械工学、電気通信工学、土木建築工学、航空工学等）

農学（農学、農業経済学、林学、畜産学、水産学等）

保健（保健衛生学、スポーツ・健康医学等）

家政（家政学、栄養学、被服学）

教育（教育学、教育発達学等）

芸術（芸術、デザイン、音楽等）

その他（教養学、国際関係学、総合科学、一般教養課程等）

[必須]

Q9. あなたは、来年(2022年)3月に卒業・修了するにあたり、就職活動（民間企業・官公庁等の職業に就くための活動）を行いましたか。（ひとつ）

※8月1日時点の状況を回答ください。

- 就職活動を行った（終えた）
- 就職活動を行っている（継続している）
- これから就職活動を行う予定である
- 就職活動を行わなかった（行う予定はない）

[必須]

Q10. あなたは、現在通っている大学／大学院を卒業・修了後にどのような進路を予定（希望）していますか。既に進路が決まっている場合は、その進路先について選択してください。まだ決まっていない場合などは、希望する進路先について回答してください。（いくつでも）

※現在学部生で、大学院に進学した後に就職することを予定（希望）している場合、ここでは、「進学（国内）」や「海外留学」を選択してください。

- 民間企業に就職
- 公務員に就職
- 教職員に就職
- NPOに就職
- 自営・家業に就職
- その他の就職
- 進学（国内）
- 海外留学
- 起業する
- 社会人としての経験があり、卒業・修了後に元の職場に復職
- まだわからない

[必須]

Q11. 就職活動を行うにあたり、志望していた（志望している）就職先の業界を教えてください。（いくつでも）

※既に就職先が決まっている人であっても、就職活動を行う際に志望していた業界を教えてください。

- 農業、林業、漁業
- 砂石業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業、小売業
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品販賣業
- 学術研究、専門、技術サービス業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業
- サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他

[必須]

Q12. あなたが、就職先を決めるにあたって重視しているものを教えてください。（いくつでも）

※他の場合はその内容について記載してください。

- 企業等の安定性
- 企業の成長可能性
- 知名度が高い
- 給与や賞与が高い／手当や社会保障が充実
- 残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス
- リモートワーク・在宅勤務が選択可能
- 兼業・副業が認められている
- 正社員として働ける
- 女性が活躍できる
- 育児休業や保育所などの両立支援の充実
- 地元で働ける
- 希望する勤務地で働ける
- 職場の雰囲気が良さそう
- 自分の能力や専門性を生かせる
- 自分の能力を高めキャリアアップにつなげられる
- 自分のやりたい仕事ができる（やりがいがある）
- 社会貢献度が高い
- 若者の採用・育成に積極的である
- その他

[必須]

Q13. 就職活動は、主にどの地域で行いましたか。 (それぞれひとつずつ)

※複数の地域で活動された場合は、主に活動した都道府県を順に3つまで回答してください。

地域1

選択して下さい ▼

地域2

選択して下さい ▼

地域3

選択して下さい ▼

※複数地域で就職活動をしていない方は、地域2、地域3では「該当なし」を選択してください。

下記の文章を読んだ上で、その後の設問にお答えください。

「<<政府が経済団体等に要請している、いわゆる「就活日程ルール」について>>

現在の大学4年生、大学院2年生等の就職・採用活動時期については、

前年度と同様に、広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始することとされました。

[必須]

Q14. あなたは就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期（就活日程ルール）が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて、知っていましたか。 (ひとつ)

- よく知っていた
- ある程度知っていた
- 聞いたことはあるがあまりよく知らなかった
- 知らなかった

[必須]

Q15. あなたはどのようなルートで就職・採用活動の時期（就活日程ルール）に関する情報を知りましたか。 (いくつでも)

- テレビや新聞等の報道
- 就職情報会社（就職ナビサイトなど）
- 大学（キャリアセンターなど）
- ハローワーク
- 政府のウェブサイト
- 家族・親戚から
- 友人から
- 先輩から
- その他

[必須]

Q16. あなたはいつ頃就職・採用活動の時期（就活日程ルール）に関する情報を知りましたか。（ひとつ）

2020年8月以前

2020年9月～10月頃

2020年11月～12月頃

2021年1月～2月頃

2021年3月以降

覚えていない

[必須]

Q17. 就職・採用活動開始時期（就活日程ルール）（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）について、どう考えますか。（ひとつ）

※他の場合はその内容について記載してください。

ルールは必要であり、現在の開始時期がよい

ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい

ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい

ルールは必要ない

その他

[必須]

Q18. 就職・採用活動時期に関し、昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについて、あなたはどのように思いますか。（それぞれひとつずつ）

		そう思ふ	どちらかといえばそう思ふ	どちらでもない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることことができた	→	<input type="radio"/>				
どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた	→	<input type="radio"/>				
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	→	<input type="radio"/>				
大学の試験に落ち着いて取り組むことができた	→	<input type="radio"/>				
卒業論文（研究）・修士論文（研究）に早い時期から取り組むことができた	→	<input type="radio"/>				
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	→	<input type="radio"/>				
ボランティア、部活動、クラブやサークル活動など課外活動に取り組む機会を充実することができた	→	<input type="radio"/>				
企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できなかった	→	<input type="radio"/>				
面接などの選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	→	<input type="radio"/>				
新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した	→	<input type="radio"/>				

[必須]

Q19. どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてるのが難しかったのは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思いますか。 (ひとつ)

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だとは思わない

【3】インターンシップについてお聞きします。

[必須]

Q20. あなたは大学／大学院に入学以後、これまでにインターンシップに参加したことがありますか。 (ひとつ)

※企業が「インターンシップ」や「ワンデー仕事体験」等と称して実施したプログラムをすべて含めてお答えください。

- 参加したことがある（1回）
- 複数回参加したことがある
- 参加したことがない

[必須]

Q21. あなたは、どのような基準でインターンシップ先を選択しましたか。当てはまるものを選択ください。 (いくつでも)

- 業界・業種への理解を深められるプログラムだから
- 就職先として興味・関心を抱いている企業であったから
- 職業観、就業観を養うことができるプログラムだから
- 学業に役立つプログラムだから
- 学業に支障が出ない（学業との両立が可能である）時期・プログラムだから
- 社会人として必要なスキルや能力が身につくから
- 採用選考につながるプログラムだから
- 給料が出るから（給料が他と比べても良いから）
- その他

[必須]

Q22. インターンシップの参加日数は何日でしたか。 (ひとつ)

- 半日
- 1日
- 2日
- 3日～4日
- 5日～10日
- 11日～15日
- 16日以上

[必須]

Q23. あなたは参加したインターンシップで、就業体験を行いましたか。 (ひとつ)

※企業の業務内容の説明や職場見学のみのものは含まれません。

就業体験を行った

就業体験はなかった

[必須]

Q24. あなたが参加したインターンシップは、採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいましたか。 (ひとつ)

※「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、以下の内容等を含みます。

- ・インターンシップの参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていた
- ・インターンシップ終了後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接・試験の案内があった
- ・インターンシップの結果が内々走の獲得に影響していた

採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた

採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった
(又は含んでいるかわからなかった)

[必須]

Q25. あなたが参加したインターンシップは、学業（授業）への影響はありましたか (ひとつ)

※授業の欠席を伴つたものなど、具体的に影響があつたものを指します

はい

いいえ

[必須]

Q26. あなたは、何日間のインターンシップに参加しましたか。 (いくつでも)

		参加した	参加して いない
半日	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1日	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2日	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3～4日	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5～10日	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11～15日	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
16日以上	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[必須]

Q27. あなたが参加したインターンシップで、就業体験を行ったものは何件ぐらいでしたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入してください。

※企業の業務内容の説明や職場見学のみのものは含まれません。

※就業体験を行ったものが無い場合は0を記入してください。

合計のインターンシップ参加日数：社参加と回答

半日 件 …[回答：hq4.c1]件参加と回答

1日 件 …[回答：hq4.c2]件参加と回答

2日 件 …[回答：hq4.c3]件参加と回答

3～4日 件 …[回答：hq4.c4]件参加と回答

5～10日 件 …[回答：hq4.c5]件参加と回答

11～15日 件 …[回答：hq4.c6]件参加と回答

16日以上 件 …[回答：hq4.c7]件参加と回答

合計： 0

[必須]

Q28. あなたが参加したインターンシップのうち、採用のための実質的な選考を行う活動を伴うものは、何件ぐらいありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入

※「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、以下の内容等を含みます。

- ・インターンシップの参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていた
- ・インターンシップ終了後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接・試験の案内があった
- ・インターンシップの結果が内々定の獲得に影響していた

※採用のための実質的な選考を行う活動を伴ったものが無かった場合は0を記入してください。

合計のインターンシップ参加日数：社参加と回答

半日 件 …[回答：hq4.c1]件参加と回答

1日 件 …[回答：hq4.c2]件参加と回答

2日 件 …[回答：hq4.c3]件参加と回答

3～4日 件 …[回答：hq4.c4]件参加と回答

5～10日 件 …[回答：hq4.c5]件参加と回答

11～15日 件 …[回答：hq4.c6]件参加と回答

16日以上 件 …[回答：hq4.c7]件参加と回答

合計： 0